

論文

「地域とつながる」教育実践 ～情報発信と地域貢献～

塚 本 美恵子

【要約】 筆者が担当するゼミナールでは、2003年から13年にわたり地元のケーブルテレビの番組を制作する教育実践をつづけてきた。また2017年には自主防犯活動団体を啓蒙する映像教材を制作して埼玉県警から感謝状の贈呈を受けた。本稿では情報発信と地域貢献を基軸とした「地域とつながる」教育実践について改めて振り返り、大学における教員の情報発信について考察した。

【キーワード】 情報発信、地域貢献、教育実践、映像制作

はじめに

筆者は2018年にProfessor of the Yearをいただくことになった。身に余る光栄である。受賞理由は、2017年にゼミナールで自主防犯活動団体を啓蒙する映像教材を制作して埼玉県警察本部と埼玉県民生活部から「感謝状」を贈呈されたことと、2003年以来13年にわたり地元・飯能日高テレビに番組提供を提供し続けたこととうかがっている。本稿では、Professor of the Yearをいただくことになった「地域とつながる」教育実践を、情報発信と地域貢献の観点から振り返り考察する。

1. 地域での情報発信のはじまり

筆者のゼミナールで制作してきた飯能日高テレビ（飯能ケーブルテレビ）の番組は、13年間で197作品になる。この実践についてはこれまで出版物や学会発表等（塚本2003、2006、2007a、2007b、2008、2013a、2013b）で報告し、飯能日高テレビで放送した全ての作品は筆者のホームページでも公開している（<http://www.surugadai.ac.jp/>

prof/mtsukamo/）。埼玉県警の映像教材についても、県警の担当者が筆者のホームページの映像作品をご覧になったことが協力要請の契機になったとうかがっている。このように情報発信は、さまざまな場の多様な人々に届いていることがわかる。

筆者が地域メディアによる情報発信に関わるようになった最初のきっかけは、飯能日高テレビの番組制作ではない。実はその3年ほど前に、当時のコミュニティFM「FM CHAPPY」の番組審議委員会をお引きうけたことから始まった。番組審議委員会としてFMを聴くようになって感じたのは、東京発のメッセージが余りに多く地域情報が少ない点への疑問だった。コミュニティFMは本来、阪神大震災を契機に全国各地で地元の情報を提供することができるようにと立ち上げられ認可された放送局である。震災時の緊急情報を提供するためには、日頃から地域に密着した情報を流さなければ地域住民に聞いてもらえない。だが当時は、都内から通勤するパーソナリティが東京の情報を伝えていた。情報の時代といわれる現代、大手メディアは東京の情報をこぞって伝える。その結果、東京都内のお店やファッションについては

詳しいのに、地元のことはよく知らない……といった現象が生じていた。更に当時、「ださいたま」といった言葉が流行し、埼玉＝田舎くさい・ダサイといったイメージが子どもたちの間にも広がっていた。こうした流れを変えるには、情報発信の方法を変えていく必要がある。地域の情報を地元の人に伝える。それがコミュニティFMの使命なのではないか。人は知らなければ関心を持たない。つまり、地元のFM局では極力、地元情報を発信し、できるだけ多くの人に地元のことを知ってもらい、関心も持ってもらう必要がある。日頃から地元の情報を流してこそ、緊急時にも地元の人に聞いてもらえるようになる。地域メディアに求められることは、地域情報を地域に流通させることではないのか？ そうすることで、地域のリスナーの信頼を獲得し、地域情報が地域文化や生活を豊かにし、結果として、子どもたちにも自分の育つ地域やコミュニティを自慢に思い、郷土を愛する心を育むことにもつながるのではないかと審議会で述べさせていただいた。その後、審議会の席上で「市民が発信する番組を作っていただきたい」との依頼を受けた。そこで筆者は大学のラジオサークルで活動している学生に協力を依頼した上で、地域の友人に「地域の情報を地域の住民が直接伝える番組を放送したい」と相談し訴えた。

ところがこの相談の直後、筆者は個人的な事情、つまり母親の余命宣告を受け、毎週末、東海地方の病院まで通うことになった。相談をした友人からは、その後何も連絡がなかったことから、番組制作の話は立ち消えたのだらうと思っていた。

半年近く経過して母を見送ったある日、FMラ

ジオから聞き覚えのある声が流れてきた。その声はまぎれもなく相談した友人の声だった。筆者は飛び上がらんばかりに驚いた。この友人「まつざわさん」は、何と、私の想いを聞いて仲間を集めてラジオ番組『みんなでつむぐモーニングタイム』をスタートしてくれていたのだ。まつざわさんは、地域でいろいろな活動をしている非常に積極的な方だが、ラジオ放送の経験は全くない。「何せ、テープレコーダーも操作したこともなかった」と笑う彼女は、仲間と一緒に放送機器の使い方をマスターし、番組をスタートしてくれていた。MDを駆使して取材し、編集をした番組から伝わってくる内容の温かさは、市民の視点に立ったすばらしいものだった。まつざわさんのインタビューを聴きながら、「これこそ市民による市民のための情報発信」だと目頭が熱くなった。世間では、ラジオ放送といえばプロが番組を作るものと誰もが考えがちだが、まつざわさんは仲間と一緒に世間の「常識」を打ち破ってラジオ放送を続けてくれていた。

遅まきながら筆者もその後、学生と一緒に第3&第4週の番組を担当した。この番組『みんなでつむぐモーニングタイム』こそ、筆者の地域貢献と情報発信の原点となった。

まつざわさんは市民の方への取材を中心にした番組を2001年4月1日から2003年9月27日まで続け、放送回数は83回、インタビューした方は100名以上にものぼった(表1)。

筆者は駿河台大学の先生方に地域に関わるお話を伺う形で2001年12月から参加した(表2)。

表1 まつざわさん担当の番組

[2001年]

2001/ 4/ 1	入間の名産「うど」を生産して	入間・石川さん
2001/ 4/ 8	織(はた)のあるお店	飯能・スタジオ88・鈴木さん
2001/ 4/15	野田双子織	入間・野田双子織研究会手づくり部村上さんほか
2001/ 4/22	いわいずら・鴨で草を取って米づくり	日高・金子さん

2001/ 4/29	どんぐりの花見におじゃまして	飯能・浜田さんほか
2001/ 5/ 6	携帯電話について	入間・塚本さん
2001/ 5/13	筍ほり	東松山・新井さん
2001/ 5/20	宇宙の旅へのお誘い	東京・若松さん
2001/ 5/27	子どもたちにお話をとどけて	川越・おはなしのぶらんこ武田さん
2001/ 6/ 3	ネパールへのボランティアをはじめて	入間・諸井さん
2001/ 6/10	スリランカのジャフナカリーをどうぞ	飯能・寺本さん
2001/ 6/17	水の写真	入間・氏家さん
2001/ 6/24	夏越の祓いで半年をふりかえりましょう	狭山・八幡神社青田さん
2001/ 7/ 1	狭山茶をどうぞ	入間・丸中園中沢さん
2001/ 7/ 8	さわやかなギャラリーブナから	飯能・菅野さん
2001/ 7/15	作品を浮き立たせる表装づくり	入間・含笑庵岩本さんほか
2001/ 7/22	世界でたったひとつの私の絵本	手作り絵本サークルたんば岡野さん、金沢さん
2001/ 7/29	龍円寺の雨乞い・新久ばやし	入間・西野さん
2001/ 8/ 5	佐渡から新潟へカヌーで横断して	入間・西田さん
2001/ 8/12	終戦 1 か月前の嫁入り	東松山・新井さん
2001/ 8/19	男もしてみゝて子育て	川越・峰尾さん
2001/ 9/ 2	歩く楽しみ	入間・日本ウォーキング協会ボランティアスタッフ泉田さん
2001/ 9/ 9	芸術の秋・茶と黒の絵	入間・相場さん
2001/ 9/16	テレビが登場したころ放送にかかわって、定年後の趣味版画	川崎・平賀さん
2001/ 9/23	札幌から入間までサイクリングして	入間・西田さん
2001/ 9/30	鮭の溯上するころ	秋田・杉本さん
2001/10/ 7	ブータンを旅して	入間・広田さん
2001/10/14	おだんご屋さんをはじめて	狭山・秋葉園秋葉さん
2001/10/21	山岡鉄舟展	小川町・双葉八木さん
	鉄舟の幟	小川町・白鳥神社宮沢さん
2001/10/28	『アイヌときどき日本人』を著わして	東村山・宇井さん
2001/11/ 4	「月光に葉をたてている秋のバラ」	日高・金子バラ園金子さん
2001/11/11	50 歳から絵を 20 年描き続けて	川崎・平賀さん
2001/11/18	子どもの心に種をまく	川越・峰尾さん
2001/11/25	埼玉県最古の民家吉田家住宅から十日夜のことなど	小川町・吉田さん
2001/12/ 9	どんぐり緑日・飯能河原から 地域から発信する放送が大事	入間・塚本さん
2001/12/30	折鶴のような寒蘭を育てて	日高・小鹿野さん

【2002 年】

2002/ 1/ 6	年越し、年初めの行事	小川町・白鳥神社宮沢さん
2002/ 1/13	糸から染めて創ったフェルトの帽子	川越・石井さん
2002/ 2/ 4	ドメスティック・バイオレンス	入間・平山さん
2002/ 2/11	春蘭	川越・我妻さん
	菰日吉神社の流鏝馬祭り 鳳揚げ	入間おやこ劇場
2002/ 3/ 3	上奥富梅宮神社甘酒祭り 高浜虚子の句碑を建立して	稲城・森本さんほか

2002/ 3/10	音楽の時間	入間・一田さん
2002/ 3/31	読み聞かせと言霊	川越・小林さん
2002/ 4/ 6	自然食の店くるみをご紹介します	川越・岡野さんご夫妻
2002/ 4/13	広島の実験体験を語る	奈良・秋山さん
2002/ 5/ 4	遊び場	川越・峰尾さん
2002/ 5/11	秩父 17 番札所定林寺から	秩父・門間さん、石野さん 西武小学校校歌
2002/ 6/ 1	フィンランド、スウェーデンを視察して	東京・矢島さん
2002/ 6/ 8	ガリ版文集を出し続けて 40 年	入間・ともしび読書会森さんほか
2002/ 6/29	昭和 30 年代の小学校で教えて	札幌・牧田さん
2002/ 7/ 6	昭和 30 年代の小学校で教えて その 2	札幌・牧田さん
2002/ 7/13	秩父へのお誘い	秩父・知知夫手づくり工房若林さん
2002/ 8/ 3	仏子の入間川河原から	入間・藤平さん、佐藤さん、阿子島さん
2002/ 8/10	飯能から秩父への電車のなかで	所沢・斎藤さん
2002/ 9/ 7	スウェーデンの情報公開	東京・矢島さん
2002/ 9/14	入間名産さといも	入間・忽滑谷さん
	蜂の巣づくり	茅野・須田さん、黒木さん
2002/10/ 5	江戸時代の札所道案内を拓本にして	秩父・小池さん
2002/10/12	川越石川製糸場で暮らして	川越・武田さん、増島さん、平井さん
2002/11/ 2	出逢い育ちあう紅茶の時間 in 川越を主宰して	川越・金子さん
2002/11/ 9	紅茶の時間 in 川越 その 2	川越・金子さん
2002/12/ 7	シルクロードを旅して絵にして	茅野・井上さん
2002/12/14	目標を持って生きてしっかり伝えていきましょう	遠野・阿部さん

【2003 年】

2003/ 1/ 4	目の不自由な人への要約筆記奉仕員として	入間・桜井さん
2003/ 1/11	ゼンマイ時計も直します	入間・小島時計工作所小島さん
2003/ 2/ 1	EU 加盟前のポーランドを旅して	福島・渡部さん
2003/ 2/ 8	子づれの勉強から大学で教えるようになるまで	入間・塚本さん
2003/ 3/ 1	四国八十八か所を歩きとおして	入間・園部さん
2003/ 3/ 8	親子で手作り絵本	入間・高橋さん
2003/ 3/29	パブリック・アクセス	入間・塚本さん
2003/ 4/ 5	社会人入学して美術の勉強をはじめます	入間・岡野さん
2003/ 4/12	日本で感じること	California・林さん
	先端技術について	入間・加藤さん
2003/ 5/ 3	カレーのお店まざあ・ぐうす子育てサロン	川越・峰尾さん
2003/ 5/11	地元飯能の踊りを中心に人の輪を	飯能・石井さん
2003/ 5/31	自治会長 2 年生	入間・前田さん
2003/ 6/ 7	現金がなくても地域ふれあい通貨でゆたかに暮らせる街を	入間・山尾さん
2003/ 6/14	梅雨の過ごし方	入間・因泥さん
2003/ 7/ 5	竹寺から	飯能・大野さん、萱ふき職人さん、高橋さん
2003/ 7/12	サンスクリット語を習って	狭山・野口さん

2003/ 8/ 2	宮大工として	入間・吉田さん
2003/ 8/ 9	「新しき村」に暮らして 50 何年	毛呂山町・渡辺さん
2003/ 8/30	入間の水	入間・小田部さん
	谷田の泉	入間・新井さん
2003/ 9/ 6	額縁・表装の店銀河堂	日高・中島さん
2003/ 9/13	入間地方の言葉に魅せられて	入間・かたりべ富田さん

表 2 筆者担当の番組

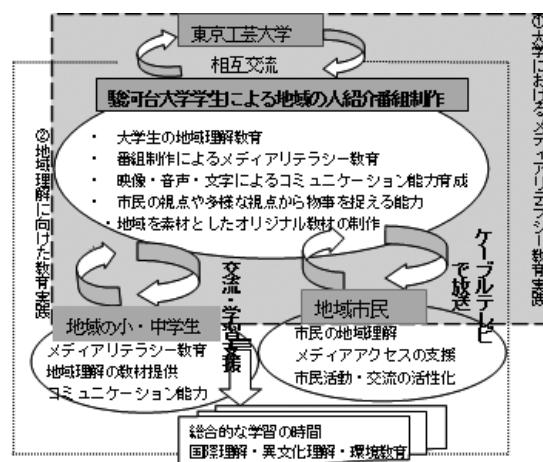
2001/12/16	南林さえ子先生	統計学	経済学部
2001/12/23	鳥居壮行先生	情報セキュリティ	文化情報学部
2002/ 1/20	土方幹夫先生	野外教育	経済学部
2002/ 1/27	広瀬順皓先生	近代政治史	文化情報学部
2002/ 2/17	門馬幸夫先生	社会学	文化情報学部
2002/ 2/24	岩熊史朗先生	心理学	文化情報学部
2002/ 3/17	加藤修子先生	サウンドスケープ	文化情報学部
2002/ 3/24	手塚映夫先生	博物館学	文化情報学部
2002/ 4/20	成田憲彦先生	『官邸』	法学部（副学長）
2002/ 4/27	成田憲彦先生	メディア	法学部
2002/ 5/18	鈴木克典先生	都市計画	経済学部
2002/ 5/25	吉田邦久先生	生物学	現代文化学部（副学長）
2002/ 6/15	西野泰司先生	放送メディア	文化情報学部
2002/ 6/22	原田三郎先生	新聞メディア	文化情報学部
2002/ 7/20	青木栄一先生	鉄道史	文化情報学部
2002/ 7/27	福永 昭先生	ホスピタリティ	文化情報学部
2002/ 8/17	竹中弥彌先生	ヨーロッパ文化	現代文化学部
2002/ 8/24	秋山洋子先生	日本語	経済学部
2002/ 9/21	熊田俊郎先生	都市社会学	法学部
2002/ 9/28	大木昭一郎先生	生涯スポーツ	文化情報学部
2002/10/19	青山征彦先生	心理学	現代文化学部
2002/10/26	原 聡先生	心理学	現代文化学部
2002/11/16	中川 徹先生	科学技術史	文化情報学部
2002/11/23	内田康夫先生	環境生物学	経済学部
2002/11/30	絵本展示		
2002/12/21	渡辺裕子先生	社会福祉	経済学部
2002/12/28	星川 照先生	微小生物	法学部
2003/ 1/18	竹下守夫先生	地域と大学	法学部（学長）
2003/ 1/25	池野秀弘先生	経済予測	経済学部
2003/ 2/15	西川敏之先生	英国選挙制度	法学部
2003/ 2/22	高垣行男先生	地元との連携	経済学部

2003/ 3/15	大久保恒治先生	地域と活動	文化情報学部
2003/ 3/22	吉野瑞枝先生	源氏物語	現代文化学部
2003/ 4/19	岸田和明先生	図書館と検索	文化情報学部
2003/ 4/26	水尾順一先生	化粧の歴史	経済学部
2003/ 5/17	大貫秀明先生	現代文化	現代文化学部
2003/ 5/24	鎗田英三先生	ドイツの手工業	経済学部
2003/ 6/21	杜 正文先生	台湾・遠隔教育	文化情報学部
2003/ 6/28	吉田恒雄先生	子どもの人権	法学部(学部長)
2003/ 7/19	田中友義先生	EU 経済	法学部
2003/ 7/26	久我晃広先生	ホッケー	文化情報学部
2003/ 8/16	櫻井千絵先生	ドイツ児童文学	文化情報学部
2003/ 8/23	戸村栄子先生	放送	文化情報学部
2003/ 9/20	石田栄美先生	情報検索	文化情報学部
2003/ 9/27	対談：まつざわあつこさん		番組終了

2. 地域理解に向けた CATV の番組制作実践

2003年9月、コミュニティFMの番組を終了した筆者は、ゼミナールで飯能日高テレビの番組制作を開始した。目的は情報発信であり、その結果として地域貢献ができればとの想いは同じである。ただ今回は、①情報発信をするのは学生であり、②番組制作を正規の授業として位置づける実践とし、また③放送した番組は「教材」として市内全域の小・中学校と公民館に寄贈すること、を決めた。これは「番組を見逃したので見たい」といった市民の方から寄せられた声や、また地元PTAの方からの要請を受けたことも理由ではあるが、何より地域の宝となる子どもたちに地元を愛する気持ちを持ってもらうことが大きな目的であった。

1年間、ゼミナールで番組制作実践に取り組んだ結果、授業を通して学生たちが様々なことを学び身につけていることが明らかになった。そこで2年目には、改良を加えて科学研究費の補助金を申請すべく新たに準備したのが図1の研究計画概念図である。この時期、大学における映像制作実践は広く行われるようになりつつあったが、映像作品制作ではつくること自体が目的化してしま



ではなく、制作した番組を地元のCATVで放送することによって市民の地域理解を促すとともに、番組を地域理解の教材として地元の小・中学校や公民館で活用していただけるようにした。また、複数の視点への気づきの機会を設けるために、制作を担当したゼミ生と他大学の学生、さらには小学生との交流の機会を設定し、地域交流の手立てとしても活用する計画も組み込んだ。

科研で採択された本実践では、番組をケーブルテレビ（「飯能日高テレビ」、及び、狭山・入間・川越・所沢CATV）で放送するだけではなく、視聴者の調査も実施した。調査票はCATVの番組ガイドに同封して送付し、回答を得た。調査から明らかになったことは何点かあるが、そのうちのひとつが、作品の評価が、視聴者と制作した学生や教員と異なっていた点だ。調査時の作品で視聴者が最も記憶に残っている作品として挙げられたのは、こんにゃくいもから自家製のこんにゃくをつくっている方に中国からのゼミ留學生が取材した番組だった。映像を制作した学生や教員は、いかに美しい映像で内容が充実しているかといった点に高い評価をしていたが、調査結果からは、地域のメディアで取り上げられていない人への取材番組が上位に挙げられた。この結果は、地域で求められている情報は何か、を改めて考える際に参考になるデータとなった。

このCATV番組制作プロジェクトは、参加ゼミ学生への調査も実施したが、参加学生の達成感や充実感も上位に挙げられていることが明らかになった。学生はアルバイト先の職場のスタッフやお客さんなど地元の人から直接「ケーブルテレビの番組、見たわよ」と声かけられることで、地域の人に自分の作品を見てもらっているという達成感を得ることができる。同時に、地元の人から直接感想を聞くことで、学びの成果を直接実感できる充実感を得るといったメリットも学生にとって大きいことが明らかになった。

このプロジェクトはその後、同じイベントの「祭り」を3人の参加者（ベテラン・新人・子ど

も）に焦点を当てて祭り当日までの2ヶ月取材し、異なった視点からの作品を制作したり（2005年春学期）、小学校の社会科の副読本の内容に沿った番組を制作したり（2006年秋学期）などの取り組みも行った。また地元小学校で実施される社会科見学を映像で記録したりするなどの学校支援や交流活動も行った（図2～図14、12頁以降に掲載）。

3. 埼玉県警プロジェクト

2016年6月、筆者の研究室の電話が鳴った。電話は埼玉県警からで、筆者のホームページをご覧になって、自主防犯活動団体を啓蒙する映像教材制作に協力していただけないか、という打診だった。

塚本ゼミでは3年生が飯能日高テレビの番組『見～つけた』を春学期はグループで、秋学期には一人1作品を制作することを課題としている。3年生が取組んでいる飯能日高テレビの番組制作では、企画・構成を考え、取材交渉などを経て、取材は3回以上することを条件としている。これは、CATVでは地元の情報を提供することが求められていることと、学生の未熟な作品ではあっても人やイベントを複数回取材することで継続的に追うことができることから、CATVのスタッフが時間的な制約からなかなか制作できない少し深みのある掘り下げた地域情報を提供することを目標としているためである。このため番組制作は、ゼミ学生にとって作業の多い課題となっている。4年生はゼミ論が課題だが、実質、就職活動が入るため、3年生も4年生もゼミ課題を達成するためには時間的にも結構タイトなスケジュールとなっている。

そこにいただいたご依頼である。学生にとっては現状以上の作業となることが予想されたことから、当初はご依頼をお断りするつもりでいた。だが4年ゼミ生に相談したところ、4年ゼミが中心となってこのプロジェクトを受けようということになった。先方からの依頼では埼玉県内の各地の取

材が含まれていたが、3・4年生で分担して夏休み期間中に取材を行い、4年有志が編集を担当すれば可能だろうとプロジェクトがスタートした(表3)。

しかし実際に制作が始まると、制作スタンスや方法論の違いも明らかになり、その度に何度も県警の方には本学まで足を運んでいただいて台本の刷り合わせや確認作業などを繰り返した。

写真1は教務課をお借りしておこなった警察署のカウンターでの対応シーンである。県警の婦警の方やメディア情報学部の学生にも参加してもらって撮影をすすめた。

また当初予定にはなかった警察への通報シーンもゼミ生が企画を提案して、通報センターへの取



写真1 教務課事務をお借りしての撮影シーン

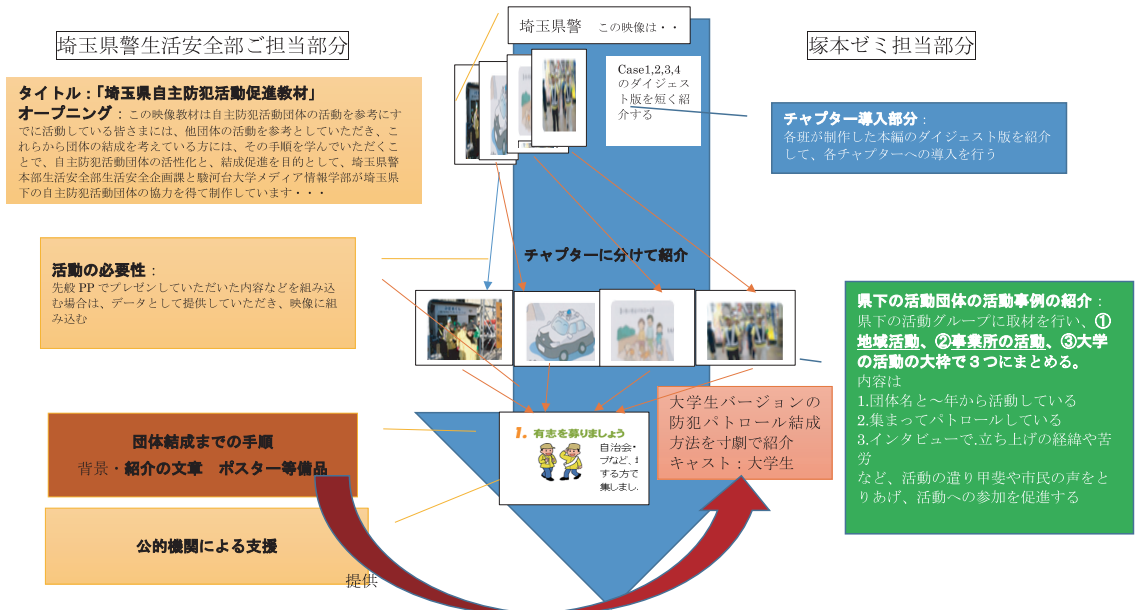
材や学内で撮影を実施して行うなど主導的に取材・撮影・編集を行ってくれた。編集はゼミ授業終了後に行い、後半は連日夜9時過ぎまでグループ③の4年ゼミ生が中心になって編集作業を行った。取材・編集がすすむと、学生からDVDをチャプター分けする提案が出てきた。県警から当初いただいた案は「20分程度の作品」だったが、学生からチャプター分けすることによって視聴者が見たいシーンを選べるように出来る方が良いのではないかと、その説明の為に筆者が準備したのが図15のイメージ図である。

県警プロジェクトの作品は、2017年2月7日に埼玉県知事公邸で贈呈式が開催され、ゼミを代表して出席した3名が、埼玉県警察本部と埼玉県民生活部から「感謝状」を受け、読売新聞と埼玉新聞で報道された(図16)。

CATVによる作品放送、そして自主防犯活動参加推進DVD作成、またその後に取材企業から学生の態度や作品が良かったと企業イベントの映像作品制作依頼をいただくなど、ゼミ学生は通常の授業では体験することのない貴重な経験をし、同時に地域貢献も実現することができた。

表3 「県警プロジェクト」担当グループ

プロジェクト No	取材先 団体名	所在地	取材活動内容	担当学生
①	烏頭坂(うとうさか)ステーション防犯パトロール	川越市	ステーションの運営(パトロールステーション活動、民間交番、徒歩パトロールの実施、毎日活動)	鈴木・桐木・広瀬・岡
②	ふくおか防犯パトロール	ふじみ野市	青色回転パトロール車、子どもの通学路巡回	今井・福田・楢山
③	県警		県警、年次大会&通報センター取材、寸劇、編集の取り纏め	大原・和田・菅家・後藤
④	西川口防犯パトロール	川口市	地域の巡回パトロール、警察と市役所と地域の三者合同活動、月2回活動	益子・萩原・
⑤	さしまスローライフ	東川口	小学生通学見守り	團野・鶴森・小野
⑥	坂戸ガス 武州ガス	坂戸市	事業者ボランティアによる自主防犯活動事例(子どもの見守り活動、地域パトロール、事業活動を通じた特殊詐欺注意喚起活動)	齋藤
⑦	駿河台大学・平成国際大学の自主防犯活動	加須市、飯能市	駿河台大学&平成国際大学(大学学生による学生防犯リーダー活動)	助川・多田・木山



4. 大学の情報発信と地域貢献

2003 年から行ってきた飯能日高テレビでの番組制作プロジェクトでは、さまざまな形の教育効果と地域貢献を念頭に実施してきた。

地域貢献としては、当初は制作した作品のビデオテープを飯能市内全域の小学校と公民館に寄贈

して地域の方や子どもたちに見てもらえるようにしてきた。しかし記録媒体の進化に伴って本プロジェクトでもビデオテープから DVD に変更し、そして現在はホームページによる動画配信を行っている。これまでにホームページをご覧になった

方からの問合せの例としては、地元の PTA の方やテレビ局からの問合せ、さらには前述した埼玉県警など多様である。本年度は地元の祭保存会の方からご連絡があった。学生が制作した番組を地域のの人に観てもらえるように、町内でポスターを制作し、加えて回覧板もまわしていただいているという。学生の学びの成果としての地域への情報発信が、地域文化の保存や地域交流に役立ち、地域貢献につながっている事例であろう。

こうした「地域とつながる」教育実践は、学生自身が地域のことを調べ、地域に関心を持ち、地域の情報を発信することで地域理解を促進しているだけではなく、前述したように学生が地元の方からのフィードバックを直接受けられる機会となっている点も大きい。また取材協力者の方々も、学生が取材に入ることで地域の連帯を強めたり、地域文化の継承の大切さに気付いたりといった機会にもなっている。地域の方からは「学生さんとざっくばらんに話ができる」と好評で、何度も取材させていただくことで相互に信頼関係も深まっていく。学生が地元を取材して情報発信することは、地域文化や地域伝統の継承、あるいは地域の連帯を強めることになっていることがわかる。

5. 本学の情報発信

ここでは、少し観点を变えて、本学の情報発信という視点から論をすすめる。今更指摘するまでもないが、現代ではさまざまな SNS が広がっている。日本経済新聞 2018 年 7 月 3 日朝刊記事によれば、世界のユーチューブ利用者は 15 億 7000 万人、インスタグラム 10 億人、ツイッター 3 億 3600 万人、スナップチャット 1 億 9100 万人と、とてつもなく多くの人が世界で SNS を利用しているという（日本経済新聞）。SNS を利用すれば個人が十分な資産を持ち合わせていなくてもクラウドファンディングで資金を集めたり、新しい考え方や発想を持つ人と一緒にネットでつながり起業したりと、さまざまな場で情報発信が活かされ

ていく。換言すると、情報発信が現代社会の資産や価値を生み出す源となっていると言っても過言ではないだろう。本学でも情報発信はホームページ、YouTube、facebook、インスタグラムなどさまざまな媒体を通して広報を行っているが、教育を担当する教員自身は、どの程度、情報発信しているのだろうか。そこで 2018 年 7 月 2 日時点で、本学のホームページにある教員情報サイトに教員のホームページアドレスやフェイスブック情報が掲載されているか調べたところ、結果は表 4 に示したようになった。メディア情報学部では情報発信している教員は 23% と比較的高い割合を示しているものの、全学では 8% にとどまっている。

大学という学びの場、教育実践の場では、最新の社会トレンドの情報や内容が授業で扱われている。その「知の拠点」となる大学での教育成果は、大学内に囲い込むのではなく、地域や社会に公開しその成果を還元していくという考え方が求められているのではないだろうか。確かに筆者自身もここ近年はさまざまな理由で非常に忙しくなっており、情報発信作業は春学期にゼミ生の作品の動画公開を毎週行うのがやっと……という状況である。しかし……である。大学はアカデミックな知識を学ぶ場だけではなく、情報発信のための基本的な知識とスキルを実践から学ぶ場である。情報化社会では、その実践を指導している教員自身もそのロールモデルを学生に示すことも求められているのではないだろうか。

表 4 学部別教員 HP・facebook 掲載の割合

	教員数	HP 等 掲載数	掲載%
法学部	21	0	0%
経済学部	25	3	12%
メディア情報学部	17	4	23%
現代文化学部	23	1	4%
心理学部	15	1	6%
合 計	101	9	8%

おわりに

筆者がこれまで13年間、情報発信を続けられた原動力は、地域とつながることにより、学生が学びをより一層実感し体感できるという一種の確信からである。大学での教育成果は学内に囲い込むのではなく、学びの成果を情報発信という形で地域に還元することで、地域貢献につながる。その地域貢献の成果が、最終的には学生の学び、そして学びの充実感につながっているのではないかと感じている。

ゼミ生は作品を公共放送の電波に乗せて放送することで、全員が社会的責任と行動をとることを求められる。自身の行動が、駿河台大学、メディア情報学部、塚本ゼミの学生という“看板”を背負った行為になることを自覚する。放送するためには、作品の主旨や企画案を取材協力者に十分に説明することから始まり、著作権対応の知識と方法を学び、実際に著作権対応策を実行しないと作品は放送できない。作品が完成すれば放送前に取材協力者に内容を確認していただくことも不可欠となる。間違った内容を放送すれば、取材協力者に多大な迷惑をおかけすることになるからだ。情報発信は、学生が社会的責任の重さを学ぶ場でもある。ゼミ生は1年間2回の番組制作をすることで、年齢の異なる地元の諸先輩方と接し、映像制作技術だけではなく、人間的にも育つ。13年間ゼミ生を見てきて、この“実感”だけは年々強くなっている。筆者の実践してきた情報発信とその結果としてもたらされた地域貢献が、今後の大学の学びの一つの事例となれば幸である。

引用文献

- Digital Trend 米セリフィー世代 最前線, 2018年7月3日 日本経済新聞朝刊
- 塚本美恵子「映像化時代に求められる教育の役割—多様性を目指すメディア教育実践の試み—」『文化情報学』Vol. 10, no.2. (2003), p 33-42
- 塚本美恵子『『利用メディアの調査』から見た異文化間教育の現在』『異文化間教育 23』異文化間教育学会 アカデミア出版会 2006, p 69-83
- 塚本美恵子『高等教育における実践的メディアリテラシー教育の試み: 地域との連携を目指して』(課題番号 16500602) 平成16年～平成18年度 科学研究費補助金(基盤研究(C)) 研究成果報告書 平成19年3月 研究代表者 塚本美恵子) 2007a, 77p
- 塚本美恵子・青山征彦・村田雅之「大学におけるメディアリテラシー教育の実践事例—地域との連携を目指した映像制作実践による ML 教育の試み—」情報コミュニケーション学会第4回全国大会, 情報コミュニケーション学会第4回全国大会発表論文集 2007b, pp 93-94
- 塚本美恵子『異文化間教育学の研究』「第3章 異文化間教育学と情報メディア」2008, p 57-74
- 塚本美恵子「特集 異文化間教育と映像メディア」に寄せて『異文化間教育』No. 38 異文化間教育学会, 2013a, p 1-15
- 塚本美恵子「第3章 ケーブルテレビの番組制作に取り組む」松野良一・塚本美恵子・間島貞幸・五嶋正治・村田雅之『映像制作で人間力を育てる—メディアリテラシーをこえて—』田研出版 2013b, P41-68 ISBN97848608

2003年度放送作品



駿河台大学 文化情報学部 塚本ゼミ 制作

2003年度『見へつけた!』

番組制作メンバー 学内用BBS制作：片桐

2003年度の塚本美恵子ゼミナールのメンバーは10名。

授業では、メディアリテラシー、地域理解、そして異文化理解の実践授業の一環として、**地元のケーブルテレビ(テレビ飯能)の番組制作**に取り組みました。

番組名は『見へつけた!』です。地域の素数な人をご紹介しますというコンセプトで番組作りを始めました。

『見へつけた!』は5分間の短い番組ですが、ゼミでは取材を3回することを課題としています。したがって、取材を取録した映像は何時間にもなりますが、学生はこの映像を、どのように編集して、どう番組を構成するかを、実践を通して学んでいきます。

勿論、1つの作品を見ても、多様な解釈が可能です。そんなことをゼミのメンバーと共に議論しながら、番組を仕上げました。取材にご協力いただいた皆様、本当に有難うございました。

春学期はグループで3作品を制作しました。オープニングとエンディング(30秒)の楽曲もゼミ生のオリジナルで、担当は片桐です。

春学期の作品は、2003年11月から12月に、**テレビ飯能の「もっと飯能」**の中で紹介されました。

秋学期には、1人1作品を制作し、2004年の3月から6月まで、テレビ飯能から放送されました。

2003年のゼミナールでの番組制作活動が、雑誌『放送レポート』(2004年7月号 No.189 晩聲社)で紹介されました。詳しくは、p58-p61をご覧ください。

2003年度に制作放送された番組『見へつけた!』は、2004年11月2日に、飯能市教育委員会を通じて飯能市内の全ての小学校・中学校と公民館に寄贈されました。

ここでは、2003年度に制作された番組(各5分)を動画で紹介しています。
下の作品の写真部分をクリックすると、番組が動画でご覧いただけます。

【秋学期作品】

 <p>井上淳治さん 「西川材」を読む '04年3月3日～3月9日放送終了 オリジナルの木工製品を制作できる工房「木家屋」を主宰しておられる井上さんに西川材についてうかがいました 【担当ゼミ生：江原】</p>	 <p>五十嵐香保里さん 「日本一のお酒」 '04年3月10日～3月16日放送終了 女性では珍しい蔵人の五十嵐さんに、お酒造りの工程を紹介していただきました 【担当ゼミ生：山本】</p>
 <p>ティル・チエルバムさん 「飯能に住んで12年」 '04年3月17日～3月23日放送終了 スリランカ出身のティルさんに、スリランカと日本の違いや、飯能での生活についてうかがっています 【担当ゼミ生：福田(和)】</p>	 <p>坂口和子さん 「飯能の石仏に会いに行こう!」 '04年3月24日～3月30日放送終了 日本石仏協会会長の坂口さんに、飯能で身近に見られる石仏を案内していただきました。 【担当ゼミ生：宗像】</p>
 <p>小林佳雪子さん 「福祉と共に」 '04年4月7日放送～4月13日放送終了 「阿須フレンドワーク」職員的小林さんに、障害者との共生について語っていただきました 【担当ゼミ生：保谷】</p>	 <p>石井英子さん 「飯能の民謡と『うちおり』」 '04年4月14日～4月20日放送終了 飯能地方の“みんな”復活と、地元飯能に伝統的に伝わる「うちおり」のビデオ制作を手がけた石井さんの活動を紹介 【担当ゼミ生：福田(真)】</p>
 <p>鈴木京子さん 「園児と遊ぶ」 '04年5月12日～5月18日放送終了 長年保育にかかわってこられた鈴木先生は、地元でも人気の保育士さん。子育てのこつを教えてくださいました。 【担当ゼミ生：武藤】</p>	 <p>豊田義継さん 「飯能の亜炭鉱と自然」 '04年5月19日～5月25日放送終了 全国の炭鉱が閉鎖される中、亜炭を肥料として開発して特許をとり、生産している日豊鉱業の豊田さんの炭鉱を訪ねました 【担当ゼミ生：福見】</p>

 <p>三谷 剛さん 「盲導犬とともに」 '04年6月2日～6月8日放送終了 盲学校の教員もしておられる三谷さんに、盲導犬との接し方などがうかがえました 【担当ゼミ生：松本】</p>	 <p>萩野映明さん 「生きる」 '04年6月9日～6月15日放送終了 巨人軍OBの元長島監督や原監督も座禅を組みにくるという能任寺の住職に、仏門に入ったきっかけなどがうかがえました 【担当ゼミ生：片桐】</p>
【春学期作品】	
 <p>名越令依さん 「人形に魅せられて」 '03年11月26日～12月2日放送終了 海外での買や総理大臣賞などを受賞されている人形師の名越さんに、人形作りへの思いがうかがえました 【担当ゼミ生：江原・保谷・片桐】</p>	 <p>佐野栄一さん 「飯能の経木職人」 '03年12月3日～12月9日放送終了 おにぎりや納豆などを包装した経木。今では珍しくなった経木を県下で唯一生産している佐野さんに聞きます 【担当ゼミ生：福田（真）・福見・松本】</p>
 <p>虎澤英雄さん 「幻の飯能焼に魅せられて」 '03年12月10日～12月16日放送終了 「幻の飯能焼」を復元している虎澤さんに、飯能窯を構えるに至った経緯や飯能焼への思いなどがうかがえました 【担当ゼミ生：福田（和）・武藤・宗像・山本】</p>	
HOME	

図2 2003年度放送作品

2004年度放送作品



2004年度『見つけた』

制作メンバー

2004年度の塚本ゼミナールのメンバーは9名。
今年もゼミでは、メディアリテラシー、地域理解、そして異文化理解の実践として、地元のケーブルテレビ(テレビ飯能)の番組『見つけた』の制作に取り組みました。
昨年は男子学生が多かった塚本ゼミですが、今回は女子学生が中心。
春学期は昨年同様、グループで3回以上取材しながら作品を仕上げますが、各グループとも取材協力者の方と打ち解けて、本当に楽しそうな取材でした。

番組のオープニングとエンディング(30秒)もゼミ生のオリジナルで、担当したのは江口です。

春学期に制作した番組は、テレビ飯能の「奥武蔵情報くらぶ」(金曜初回)で2004年11月12日から12月9日にわたり放送されました。

秋学期に制作した番組は、翌年の2005年4月1日から9週にわたって放送されました。





2004年度の放送番組は、2005年10月4日に飯能市教育委員会で贈呈式を行いました。
これらの番組は、飯能市教育委員会を通じて市内すべての小学校・中学校と公民館に寄贈されたもので、お近くでもご覧いただけます。

ここでは、2004年度の作品(各5分)を、動画でご紹介しています。
下の作品の写真部分をクリックすると、番組が動画でご覧いただけます。

【秋学期作品】

 <p>野口家嗣さん 「我が道を行く」 '05年4月1日～4月7日放送終了 「野口のタネ」屋さん、河童研究家、作詞家。91歳を迎えられた野口さんにお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：江口春樹】</p>	 <p>小澤久雄さん 「飯能の刀鍛冶」 '05年4月8日～4月14日放送終了 飯能の正丸峠近くで刀作りにこだわられる小澤さんに、刀制作の工程やご苦労について話していただきました。 【担当ゼミ生：斎藤鉄也】</p>
 <p>田中順三さん 「好きなものに囲まれて」 '05年4月15日～4月21日放送終了 「中谷孝雄記念館」「田中縄文文化館」館長、そして小説も書かれる田中さんにお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：川筋千春】</p>	 <p>桑山和子さん 「助け合い精神を忘れず」 '05年4月29日～5月5日放送終了 飯能ではじめてNPO「たんぽぽ」を立ち上げ、活動を展開されている桑山さんにお話をうかがっています。 【担当ゼミ生：岩田未来】</p>
 <p>浅見徳男さん 「飯能から池袋へ」 '05年5月13日～5月19日放送終了 元郷土館館長の浅見さんに、全国でも珍しい市民がお金を出しあって建設した武蔵野鉄道についてうかがいます。 【担当ゼミ生：斎藤亜伊】</p>	 <p>宿谷益三さん 「四里餅を訪ねる」 '05年5月20日～5月26日放送終了 飯能銘菓として有名な「四里餅」を製造しておられる宿谷さんに、「四里餅」の由来などをうかがいました。 【担当ゼミ生：野見山里美】</p>
 <p>加藤栄子さん 「飯能の橋」 '05年6月3日～6月9日放送終了 お子さんの宿題の手伝いから始まったという飯能の橋調べについて、加藤さんにお話をうかがいます。 【担当ゼミ生：金澤恵美】</p>	 <p>岸田卓三さん 「人生を育てる」 '05年6月10日～6月16日放送終了 盆栽をこよなく愛される岸田さん。盆栽を育てる楽しみや苦労をうかがいます。 【担当ゼミ生：中村あすか】</p>
 <p>大野邦弘さん 「竹寺の神仏習合」 '05年6月17日～6月23日放送終了 神社とお寺が一緒になっているという竹寺の歴史や神仏習合の歴史的背景についてお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：浮島久美子】</p>	

【春学期作品】

 <p>須田きみさん 輝子さん 「水守人生40年」 '04年11月12日放送終了 長年にわたり宮沢湖の取水口の水守をしておられるきみさん にかがいました 【担当ゼミ生：斎藤(亜)・齋藤(鉄)・江口】</p>	 <p>遍録太郎さん 「人生を楽しむ」 '04年11月19日放送終了 彫刻家でもあり画家としても活躍しておられる滝さんが 「芸術」について語ります 【担当ゼミ生：川崎・中村】</p>
 <p>岡部貴聡さん 「モトクロスに魅せられて」 '04年11月26日放送終了 モトクロス大好きのお部さんが障害にめげず大活躍する活力 源をうかがいます 【担当ゼミ生：岩田・浮島】</p>	 <p>倉川博先生(所沢西高校)と 岡野祐一先生(飯能高校) 「飯能の地層を訪ねる」 '04年12月10日放送終了 全国的にも珍しい古い地層が露出している飯能の地層につ いてうかがいました 【担当ゼミ生：野見山・金澤】</p>

HOME

図3 2004年度放送作品

2005年度放送作品



2005年度『見つけた』

番組制作メンバー 学内用BBS制作：高橋

2005年度の塚本美恵子ゼミナールのメンバーは13名。ゼミで取り組んでいるのは、メディアリテラシー、地域理解、異文化理解、そして「多様な視点の獲得」を目指した映像制作。地元のケーブルテレビ（テレビ飯能）の番組を制作することで、メディアリテラシーやデジタル編集だけではなく、コミュニケーションの方法や、物事には多様な視点があることを実践的に学びます。

授業で制作した作品は、ケーブルテレビ放送終了後に、このホームページでもご紹介しています。

番組のオープニングとエンディング（30秒）もゼミ生のオリジナル楽曲を使用しています。本年度の担当は、菅藤です。

春学期は例年通りグループで取材を開始したのですが、今回は地元の方のアドバイスもあって、名栗の諏訪神社のお祭りを一人一人がそれぞれの視点で番組を仕上げてみよう、ということになり、3作品が仕上がりました。

春学期の作品は全部で6作品。テレビ飯能の「奥武蔵情報くらぶ」で2005年10月から12月にかけて放送されました。

秋学期作品は13本。一人が1番組を仕上げました。

秋学期の作品は、2006年4月21日から7月21日に、テレビ飯能で放送されました。

2006年12月13日に、2005年度に制作された全ての作品を、市内の中小中学校と公民館で利用していただくために、贈呈式を行いました。これらの作品は全て、皆様のお近くでもご覧いただけます。

ここでは、2005年度の作品(各5分)を動画でご紹介しています。
下の作品の写真部分をクリックすると、番組が動画でご覧いただけます。

【秋学期作品】

 <p>松永順平さん 「映像で気持ちを描く」 '06年4月21日（金）～4月27日放送終了 映画監督の松永順平さん。飯能の各所で撮影された松永さんの作品をご紹介します。 【担当ゼミ生：高橋直博】</p>	 <p>町田多加次さん 「詩人 蔵原伸二郎を語る」 '06年4月28日（金）～5月4日放送終了 『蔵原伸二郎と飯能』（ききたま出版会）の著者である町田さんにかがいました。 【担当ゼミ生：平塚 潤】</p>
 <p>嘉手川繁夫さん 「～無名を求める～」 '06年5月19日（金）～5月25日放送終了 画家である嘉手川さんのダイナミックな作品と、古民具の収集品についてうかがいました。 【担当ゼミ生：渡辺匡志】</p>	 <p>浅野哲示さん 「和綴本の世界」 '06年5月19日（金）～5月25日放送終了 和とじ本を制作しておられる浅野さんに、和とじ本の作り方を紹介いただきました。 【担当ゼミ生：斎藤慎二】</p>
 <p>大河原栄子さん 「大河原栄子さんを訪ねて」 '06年5月19日（金）～5月25日放送終了 「吾野の歴史を語り記録する会」の大河原さんは、布で素敵な小物の作品も作られています。 【担当ゼミ生：岩田優子】</p>	 <p>吉岡かおるさん 「共感のちから」 '06年5月26（金）～6月1日放送終了 子育て支援のグループで活動しておられる吉岡さんに、活動への思いをうかがいました。 【担当ゼミ生：菅藤賢治】</p>
 <p>北田浩一さん 「快適人生～料理と音楽の日々～」 '06年6月9日（金）～6月15日放送終了 美味しいつけ麺の店、住田屋のご主人、北田さんの素晴らしいギター演奏をお楽しみ下さい。 【担当ゼミ生：磯谷哲平】</p>	 <p>深堀道義さん 「人生は70歳から～死ぬまで青春」 '06年6月16日（金）～6月22日放送終了 「飯能地方のわらべうた」を企画された深堀さんに、わらべうたについてうかがいました。 【担当ゼミ生：韓 麗萍】</p>

 <p>大野康さん 「口から始める ふ・く・し と地域づくり」 '06年6月23日（金）～6月29日放送終了 原市場の歯医者さんでもある大野さんに、まちづくりにかわられる思いをうかがいました。 【担当ゼミ生：住吉健一】</p>	 <p>加成幸男さん 「鍛鉄工芸家の加成さん取材して」 '06年7月7日（金）～7月13日放送終了 鉄を打って作品をつくれる加成さんの工房を訪ねて、作品をご紹介します。 【担当ゼミ生：利根川 仁】</p>
 <p>桑原理介さん 「最高を届けたい」 '06年7月7日（金）～7月13日放送終了 飯能市南川の桑原家具工房で、じっくり味のある作品を作っておられる桑原さんをご紹介します。 【担当ゼミ生：吉田祐太】</p>	 <p>早瀬成憲さん 「～彫刻家～早瀬成憲さんを訪ねて」 '06年7月14日（金）～7月20日放送終了 心なごむ仏像を彫られている早瀬さんのご自宅を訪ねました。作品をご紹介します。 【担当ゼミ生：遠藤裕二】</p>
 <p>石森鶴吉さん 「手造りこんにやく」 '06年7月21日（金）～7月27日放送終了 畑でとれたこんにやく芋から、手造りこんにやくを作っておられる石森さんをお訪ねしました。 【担当ゼミ生：金 起享】</p>	
<h3>【春学期作品】</h3>	
 <p>小太刀克夫さん 「自然と優しさ」をテーマに描く '05年10月7日（金）～10月13日放送終了 メルヘン園の小太刀さん。描かれる絵は、私たちの心をホッとさせて癒してくれます。 【担当ゼミ生：岩田、高橋、菅藤】</p>	 <p>丘崎隆さん 「メンコ・コレクター丘崎隆さんを訪ねて」 '05年10月14日（金）～10月20日放送終了 メンコ、ゴム消し、コマ・・・懐かしいおもちゃの数々を収集して、子どもたちに遊びを教えておられる丘崎さんに伺いました。 【担当ゼミ生：斉藤、利根川、遠藤】</p>
 <p>中里なみ子さん 「婦人の成長を願って」 '05年10月28日（金）～11月3日放送終了 飯能婦人会の会長をなさった中里さんに当時の婦人会の斬新な婦人会活動を紹介します。 【担当ゼミ生：住吉、韓、金、吉田】</p>	 <p>豊住元さん 「獅子舞に懸けた夏」 '05年11月11日（金）～17日（金）放送終了 名栗諏訪神社の獅子舞に今年はじめて挑戦された豊住さんに、獅子舞を始められたきっかけなどをうかがいました。 【担当ゼミ生：平塚】</p>
 <p>塩野吉正さん 「埼玉県の無形民俗文化財を迫って」 '05年11月25日（金）～12月1日放送終了 名栗諏訪神社の獅子舞は、真剣を使って舞います。獅子舞について、塩野さんを中心に紹介します。 【担当ゼミ生：磯谷】</p>	 <p>荻野翔吾君 「名栗の夏」 '05年12月9日（金）～12月15日放送終了 名栗諏訪神社のお囃子は、小学生から年配の方まで参加しています。今回は子どもたちを中心に、取材させていただきました。 【担当ゼミ生：渡辺】</p>
<h3>HOME</h3>	

図4 2005年度放送作品

2006年度放送作品



2006年度『見〜つけた』

番組制作メンバー 学内用BBS制作：斎藤

2006年度作品も、2007年12月12日（水）に飯能市教育委員会の2階会議室で2006年度『見〜つけた』の全ての作品を、市内全域の小中学校と公民館で教材として利用していただけるよう贈呈式を行いました。



2007年12月12日に市役所で行われた贈呈式

2006年度の塚本美恵子ゼミナールのメンバーは17名。
ゼミで取組んでいるのは、メディアリテラシー、地域理解、異文化理解、多様な視点の獲得を目指した映像制作の実践です。地元のケーブルテレビ（テレビ飯能）番組の制作を通じて、メディアリテラシーを学ぶと同時に、地域の方とのさまざまな交流から、地域理解や映像・音・文字を使ったコミュニケーションの方法を学び、さらに、物事には捉え視点によって「多様な視点」があることを実践的に学んでいます。

2003年度から始まった塚本ゼミでの番組『見〜つけた』の制作は、今年で4年目になりました。作品は全て、学生が企画・取材・編集しています。今年度の番組のオープニングとエンディングの楽曲も、ゼミ生のオリジナル作品です。本年度のオープニング担当は、関口英知です。

全ての放送番組（各5分）は、動画でご覧いただけます。
作品の写真部分をクリックすると、番組がスタートします。

【秋学期作品】

 <p>飯能むすび 「森と水の郷 ウェブページ制作者を訪ねて」</p> <p>'07年5月11日～5月17日放送終了</p> <p>飯能の情報やイベントを紹介するホームページ「飯能むすび」担当の赤松千里さんとスタッフの皆さんをご紹介します。</p> <p>【担当ゼミ生：テイ・エイキ】</p>	 <p>福德寺 「地元の方に守られ800年 福德寺」</p> <p>'07年5月18日～5月24日放送終了</p> <p>東飯能駅から徒歩で15分。鎌倉時代に建てられた阿彌陀堂に祭られている三尊像の御開帳を取材しました。</p> <p>【担当ゼミ生：星野 隆仁】</p>
 <p>新電元 「飯能の新電元から世界の新電元へ」</p> <p>'07年5月25日～5月31日放送終了</p> <p>飯能駅南口近くにある地元ではよく知られた企業・新電元をお訪ねして、製品などをわかりやすく紹介していただきました。</p> <p>【担当ゼミ生：吉田 隆之】</p>	 <p>吉田徳治さん 「日職人の想い」</p> <p>'07年6月1日～6月7日放送終了</p> <p>飯能で長年、白や杵を作っておられる日職人の仕事を紹介しながら、吉田さんの木の文化へのこだわりをお伝えできればと思います。</p> <p>【担当ゼミ生：関口 英知】</p>
 <p>街並み景観づくり委員会 「街に色を！ 街並み景観づくり委員会の想い」</p> <p>'07年6月8日～6月14日放送終了</p> <p>伸び悩む商店街を賑やかにするため、間取りきったシャッターに絵を描こうと活動中の委員長 吉田行男さんにお話をうかがいました。</p> <p>【担当ゼミ生：竹原 知子】</p>	 <p>飯能精密工業 「世界一の携帯電話ノキアをつくる精密工場」</p> <p>'07年6月15日～6月21日放送終了</p> <p>ケータイの世界シェアNo.1企業のノキア。このケータイのパーツが飯能で作られています。</p> <p>【担当ゼミ生：斎藤 潤也】</p>
 <p>高田祐次・季子さん 「祖父母に聞く～養蚕の郷：飯能～」</p> <p>'07年6月22日～6月28日放送終了</p> <p>地元在住の祖父母に、昔の飯能について取材しました。その中でも今回は特に養蚕についての話をご紹介します。</p> <p>【担当ゼミ生：加藤 一輝】</p>	 <p>若宮三千代さん 「邦楽を通じて若者へ」</p> <p>'07年6月29日～7月5日放送終了</p> <p>幅広く邦楽を伝え、駿河台大学の邦楽三味線部の講師もしてられる若宮三千代さん取材しました。</p> <p>【担当ゼミ生：神谷 泰生】</p>

 <p>斉田次郎さん 「飯能に友禅染を訪ねて」 '07年7月6日～7月12日放送終了 飯能市南で、染めを仕事として山に住む斉田さんに、友禅染の魅力をうかがいました。 【担当ゼミ生：藤川 知子】</p>	 <p>柳戸信吾さん 「飯能の水力発電」 '07年7月13日～7月19日放送終了 飯能にかつて建てられた水力発電所を、郷土館学芸員の柳戸さんに案内していただきながら訪ねてみました。 【担当ゼミ生：色川 信也】</p>
 <p>(株)サカモト 「オリジナルドアと品質」 '07年7月20日～7月26日放送終了 手づくりの木製ドアは、美しさと人への優しさを持ち合わせている。そんな個性あるドアを製造している会社サカモトをご紹介します。 【担当ゼミ生：後藤 宏顕】</p>	 <p>石井芳枝さん 「男女共同参画委員会」 '07年7月27日～8月2日放送終了 飯能男女共同参画委員会に長年携わってこられた石井芳枝さんに、活動内容についてうかがいました。 【担当ゼミ生：吉田 慎太郎】</p>
 <p>高橋通さん 「飯能と一弦琴」 '07年8月3日～8月9日放送終了 高橋通さんに、伝統楽器である一弦琴を、飯能の歴史を交えてご紹介いただきます。 【担当ゼミ生：島中 みほ】</p>	 <p>鈴木得常さん 「長光寺」 '07年8月10日～8月16日放送終了 飯能市下直竹の長光寺にある重要文化財の霊板と、有形文化財の本堂・惣門・三門について、鈴木住職にお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：里光 輝隆】</p>
 <p>岡部秀司さん 「ホッケー用具から支える」 '07年8月17日～8月23日放送終了 ホッケー用品の製造・販売を通じて、日本のホッケーを支えている岡部さんにうかがいました。 【担当ゼミ生：村井 卓也】</p>	 <p>利根川 毅さん 「杉苗を育てる」 '07年8月24日～8月30日放送終了 飯能市双柳で花粉の少ない杉の苗を栽培している利根川さんをご紹介します。 【担当ゼミ生：秋山 悠平】</p>
 <p>小峰一男さん 「磨き丸太」 '07年8月31日～9月6日放送終了 木の素材の良さをそのまま生かして磨く「みがき丸太」。制作工程をご紹介しながら、みがき丸太の魅力をお伝えします。 【担当ゼミ生：新井 一輝】</p>	
<h2>【春学期作品】</h2>	
 <p>小槻成克さん 「飯能二丁目の山車～歴史と伝統～」 '06年12月2日～15日放送終了 飯能まつりでもおなじみの各町内の山車ですが、その中でも一番古いといわれている2丁目の山車の彫刻を中心にご紹介いただきます。 【担当ゼミ生：秋山、色川、関口】</p>	 <p>加藤義雄さん 「飯能駅前商店街の歴史」 '06年12月2日～15日放送終了 飯能市街の歴史について、飯能駅を中心に加藤さんがお持ちの貴重な写真などを見せていただきながら、お話をうかがいました。 【担当ゼミ生：吉田、村井、藤川、後藤】</p>
 <p>双柳 「双柳の夏祭りを追う」 '06年12月2日～15日放送終了 飯能の夏のお祭りの代表的なものとして、7月に双柳で行われる八坂神社のお祭りを、山車、底抜け屋台、そして神輿と追いかけてご紹介いたします。 【担当ゼミ生：新井、加藤、神谷、斎藤】</p>	 <p>村里泰由さん 「自然と暮らす」 '06年12月16日～29日放送終了 家作りを木探しから始める「ぼくの木探し」を提唱される村里さんに、自然を生かした家作りについてうかがいました。 【担当ゼミ生：島中、竹原、ティ】</p>
 <p>山田直行さん 「あくなきカヌーへの挑戦」 '06年12月16日～29日放送終了 名栗カヌー工場の理事長でおられる山田さんに、飯能に工房をおかれたきっかけや今後について、お話をうかがいました。 【担当ゼミ生：星野、吉田、里光】</p>	
<h2>HOME</h2>	

図5 2006年度放送作品

2007年度放送作品



2007年度『見につけた』制作メンバー

番組制作メンバー 学内用BBS制作：藤崎

ゼミで取り組んでいるのは、メディアリテラシー、地域理解、異文化理解、そして「多様な視点の獲得」を目指した映像制作。地元のケーブルテレビ（テレビ飯能）の番組を制作しながら、メディアリテラシーやデジタル編集だけではなく、効果的なコミュニケーションの方法や、物事には多様な視点があることなどを実践的に学びます。

番組のオープニングとエンディング（30秒）の楽曲も、ゼミ生のオリジナルです。
本年度の担当は、北堀（楽曲）と、平山（編集）です。

ゼミ生（馬場義貴）制作の作品「羊毛を染めて紡ぐ～自由に生きる～」が湘南映像祭に入賞しました。

飯能市教育委員会への「贈呈式」を行いました！

2009年2月24日に下記の全ての作品を飯能市教育委員会に贈呈しました。



ここでは、2007年度の作品(各5分)を動画でご紹介しています。
下の作品の写真部分をクリックすると、番組が動画でご覧いただけます。

【秋学期作品】

 <p>くまがい まちさん 「飯能在住の絵本作家を訪ねる」 08年5月14日～5月20日放送終了</p> <p>熊谷さんのほのぼのとした作品の数々をご紹介しますが、熊谷さんに「絵本作家になるためには」の秘訣をうかがいました。絵本作家になりたい子どもたちに、必見です！ 【担当ゼミ生：平山 瞬】</p>	 <p>白幡 明さん 「ガラス工芸職人」 08年5月21日～5月27日放送終了</p> <p>日本工芸会理事で、色々な賞も受賞されているガラス工芸作家の白幡さん取材しました。白幡さんの作品をご紹介しますながら、ガラス工芸への想いを語っていただきます。 【担当ゼミ生：藤崎 靖晶】</p>
 <p>栗原 慶子さん 「森と共に生きる」 08年5月28日～6月3日放送終了</p> <p>全国林業研究グループ連絡協議会副会長や「結木の会」代表などをつとめられる栗原さんに、男性の仕事と考えられがちな林業で活躍する女性たちの活動をご紹介します。 【担当ゼミ生：吉岡 翔吾】</p>	 <p>鈴木 弘子さん 「羊毛を染めて紡ぐ～自由に生きる～」 08年6月4日～6月10日放送終了</p> <p>羊の毛から糸を紡ぎ、染め、織るまでの工程をすべて手作業でいねいに仕上げていく鈴木さんの手仕事と作品をご紹介します。 【担当ゼミ生：馬場 義貴】 “湘南映像祭入賞作品”</p>
 <p>岸 道生さん 「飯能焼～地元の素材にこだわる職人～」 08年6月11日～6月17日放送終了</p> <p>飯能の土にこだわって飯能焼を作り続ける岸さんに、地元の土の感想や飯能焼への想いを語っていただきながら、飯能焼の工程をご紹介します。 【担当ゼミ生：糸井 正樹】</p>	 <p>市川 洋太郎さん 「東飯能駅の歴史～八高線～」 08年6月18日～6月24日放送終了</p> <p>東飯能駅前にある飯能二ツサンの社長に、八高線が蒸気機関車の時代の貴重な写真を見せていただきながら、当時の八高線のお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：中原 弘貴】</p>

 <p>波木 克己さん 「その音にける想い」 08年6月25日～7月1日放送終了 ハーモニカ奏者として数々の賞を受賞されている波木さんが作曲されたオリジナル曲をバックに、波木さんにハーモニカの魅力を語っていただきました。 【担当ゼミ生：北嶋 翼】</p>	 <p>高山 順子さん 「若松屋 東郷せんべいの魅力」 08年7月2日～7月8日放送終了 飯能の吾野には、知る人ぞ知る飯能銘菓「東郷せんべい」があります。なぜ飯能に東郷公園があるのかなど、若松屋の奥様の高山さんに教えていただきました。 【担当ゼミ生：高田 康平】</p>
 <p>窪寺 明子さん 「しょうがい者との接し方を考える」 08年7月9日～7月15日放送終了 精神しょうがい者小規模作業所のわかばの家の施設長の窪寺さんに、しょうがい者との接し方についてうかがいます。勿論、わかばの家のさまざまな活動もご紹介します。 【担当ゼミ生：孫 偉】</p>	 <p>大鵬薬品研究センター 「健康を守る新薬の開発」 08年7月16日～7月22日放送終了 飯能の美杉台にある大鵬薬品飯能研究所では、癌やアレルギー、泌尿器などの薬の開発が行われています。薬品開発の最先端のお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：松沢 周平】</p>
 <p>横田 幸典さん 「スポーツを文化に」 08年7月23日～7月29日放送終了 宮脇書店オーナーの横田さんは、小学生から中高生までの年代別のサッカーチームNPO法人「飯能ブルーダー」を立ち上げ、スポーツを通した活動をしています。 【担当ゼミ生：上條 早希】</p>	 <p>柳戸 美鶴さん 「スタジオ『くら』～温もりのある空間～」 08年7月30日～8月5日放送終了 飯能にあるフリーオープンスペースのスタジオ『くら』をご存知ですか？今や飯能市民の芸術文化活動の活動拠点ともなっているこのスタジオのオーナー柳戸さんらを取材しました。 【担当ゼミ生：田中 麗】</p>
 <p>「見つけたコラボレーション」版 08年8月6日～8月12日放送終了 2003年から始まった塚本ゼミの番組制作ですが、今年で6年目になりました。今回は、この番組がご縁で始まった新しいコラボレーションプロジェクトのご紹介をします。 【担当：塚本】</p>	 <p>番組「見つけた」の再放送は終了しました。 2003年度の作品から順次、放送しています。 どうぞ、お楽しみ下さい。再放送予定日程表</p>

【春学期作品】





 <p>木馬をつくる会 「雑祭りお宝展in飯能を知ってみよう！」 2007年10月10日～10月16日放送終了 今年で2年目となった飯能の町を挙げてお雛様を飾って楽しむイベントの仕掛け人グループ「木馬をつくる会」の浅野さんと井上さんに飯能への思いをうかがいました。 【担当ゼミ生：平山、馬場、松沢】</p>	 <p>北川小学校 「歴史と伝統の小学校～ふるさと北川～」 2007年10月17日～10月23日放送終了 現在は廃校になった飯能・吾野の北川小学校は、「ぶなの木の教育」が行われていた伝統ある小学校として有名でした。当時のお話を地域の方や元先生をお訪ねしてご紹介いただきます。 【担当ゼミ生：北嶋、田中、高田】</p>
 <p>黒田・細田地区の皆さん 「お散歩マーケット」 2007年10月24日～10月30日放送終了 山あいの小さな集落、黒指と細田の住民がつくった手作りイベントとして開催されている「お散歩マーケット」も4回目になるそうです。新旧住民が協力し刺激しあうイベント開催の秘訣をうかがいました。 【担当ゼミ生：糸井、孫、中原】</p>	 <p>南川小学校 「南川小学校～木造校舎と地域の人々～」 2007年10月31日～11月6日放送終了 木造校舎が懐かしさを誘う吾野・南川小学校は、廃校となった現在も地域の皆さんによって大切に守られています。地域の拠点としての小学校への思いを、校友会副会長の戸口さんにうかがいました。 【担当ゼミ生：藤崎、吉岡、上條、遠藤】</p>

図6 2007 年度放送作品

2008年度放送作品

塚本ゼミ テレビ飯能で放送！



↑ 文化情報学部 3年 ↑

2008年度『見つけた』制作メンバー

番組制作メンバー 学内用BBS制作：千葉

ゼミで取り組んでいるのは、メディアリテラシー、地域理解、異文化理解、そして「多様な視点の獲得」を目指した映像制作。地元ケーブルテレビ（テレビ飯能）の番組を制作しながら、メディアリテラシーやデジタル編集だけではなく、効果的なコミュニケーションの方法や、物事には多様な視点があることなどを実践的に学びます。

番組のオープニングとエンディング（30秒）の楽曲も、ゼミ生のオリジナルです。
本年度の担当は、北堀（楽曲）と、樫山（編集）です。

2008年度秋学期制作の作品『見つけた』（各5分）は5月13日からテレビ飯能で放送されました。

作品をご覧頂く場合は、下の写真部分をクリックすると、番組が動画ではじまります。どうぞ、お楽しみ下さい。

2009年7月12日には、飯能市教育委員会で贈呈式を行いました。



これは制作した番組『見つけた』を、飯能市内全員の小中学校と公民館で教材に使っていただくために、2003年から毎年続けている活動です。

【秋学期作品】

 <p>長谷川 純一さん 「<u>新極真空手を通して</u> <u>子どもの心を育てる</u>」</p> <p>放送終了：2009年5月13日～19日 飯能や入間地区などの道場で、新極真空手の指導をしておられる長谷川さんに、子ども達へのメッセージを語っていただきました。 【担当ゼミ生：伊藤 拓也】</p>	 <p>滝沢 修一さん 「<u>美味しい魚を届ける！</u>」</p> <p>放送終了：2009年5月20日～26日 飯能市銀座商店街にある魚屋「滝長」さんに、新鮮な魚の見分け方、美味しい食べ方や魚の調理方法などを教えていただきました。 【担当ゼミ生：石田 利佳】</p>
 <p>佐田 要さん 「<u>800年の謎</u> <u>『羅刹天目茶碗』に挑戦する</u>」</p> <p>放送終了：2009年5月27日～6月2日 南宋時代の幻の陶芸作品「羅刹天目茶碗」を再現しようとして、長年、研究に取り組んでおられる陶芸作家、佐田さんの作品のいくつかをご紹介します。 【担当ゼミ生：西久保 祐輝】</p>	 <p>堀 佐知子先生 「<u>『聖望学園』～堀 佐知子先生～</u>」</p> <p>放送終了：2009年6月3日～9日 生徒に人気のある聖望中学校社会科の堀先生を、卒業生の福村がお訪ねして、先生が教師になられた動機や、授業で工夫されている点などについてうかがいました。 【担当ゼミ生：福村 弘太郎】</p>
 <p>森 和男さん 「<u>『人生の達人』</u> <u>～森和男さんを訪ねて～</u>」</p> <p>放送終了：2009年6月10日～16日 飯能で簿記理事務所を営まれる森さんは、地元では「人生の達人」と称される経験豊かな方。その森さんに、昔の飯能の料亭や「飯能ペン」について語っていただきました。 【担当ゼミ生：小林 優矢】</p>	 <p>古都葉さん 「<u>飯能に唯一残る芸者</u> <u>～古都葉さんに聞く～</u>」</p> <p>放送終了：2009年6月17日～23日 西川材と織物で栄えた飯能は、かつて色町としても有名でした。現在、飯能にただお一人残る芸者・古都葉さんに、昔の飯能の花柳界や修行時代についてお話をいただきました。 【担当ゼミ生：千葉 良平】</p>

 <p>森田環境企画 (株) 「プロの芸術家集団」 放送終了：2009年6月24日～30日 博物館・美術館などの展示模型を専門に制作する日本でも有数の企業・森田環境企画を狭山市にお訪ねし、展示作品の制作プロセスや芸術について、うかがいました。 【担当ゼミ生：坂内 裕之】</p>	 <p>宮尾 真さん 「シルバージュエリー ～銀の魅力～」 放送終了：2009年7月1日～7日 飯能市川寺でナイフやジュエリーなどを手作りされている宮尾さんを訪ねて、お店を開いたきっかけや作品への思いを語っていただきました。 【担当ゼミ生：櫻山 直樹】</p>
 <p>春田 香歩さん 「草木染～自然の色を楽しむ～」 放送終了：2009年7月8日～14日 飯能岩沢地区で草木染をしておられる春田さんに、簡単な草木染の方法を教えてくださいました。草や木の個性がにじみ出る微妙な色合いの作品をお楽しみ下さい。 【担当ゼミ生：見坊 政圭】</p>	 <p>吉川 信行さん 「駿河台大学剣道部主将 ～全国大会への道のり～」 放送終了：2009年7月15日～21日 剣道部創立以来、初めて男女とも個人・団体で全国大会進出を決めた剣道部で、100名近い部員をまとめる主将の吉川さんに、これまでの道のりや選手たちの思いをうかがいました。 【担当ゼミ生：渡邊 隆太】</p>
<p style="text-align: center;">【春学期作品】</p>	
 <p>男のクッキング教室参加者の皆さん 「楽しい男のクッキング」 放送終了：2008年11月12日～18日終了 飯能で10年余り続いている男性ばかりのクッキング教室をご紹介します。月1回、2人の先生から交代で料理作りを教わっている皆さんの教室におじゃましてみました。 【担当ゼミ生：坂内、西久保、石田】</p>	 <p>戸口光昭さん 「蛭を育てる」 放送終了：2008年11月19日～25日終了 ご自宅で蛭を育てておられる戸口さんは、毎年近隣の小学校や市町田に2万匹の蛭を放っています。蛭を育てる際のご苦労や楽しいことなどをうかがいました。 【担当ゼミ生：福村、渡邊、櫻山】</p>
 <p>石田安良さん 「飯能白子地区 エコツーリズムの仕掛け人」 放送終了：2008年11月26日～12月2日終了 飯能市白子地区のエコツーリズムを仕掛けておられる“5人衆”の皆さんをご紹介します。地域の人との交流を楽しみながら自然を満喫できるエコツーリズムの楽しさを、石田さんにうかがいました。 【担当ゼミ生：小林、見坊、千葉】</p>	 <p>伊藤賢典先生 「人力飛行にける思い」 放送終了：2008年12月3日～12月9日終了 飯能にある自由の森学園の人力飛行部の顧問をされている伊藤先生を訪ね、人力飛行部創立のきっかけや、これまで11回にもなる挑戦のお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：伊藤、長岡】</p>

図 7 2008 年度放送作品

2011年度放送作品



2011年度『見つけた』制作メンバー

番組制作メンバー

番組で取り組んでいるのは、メディアリテラシー、地域理解、異文化理解、そして「多様な視点の獲得」を目指した映像制作。地元の高ケルテレビ（テレビ飯能）の番組を制作しながら、メディアリテラシーやデジタル編集だけではなく、効果的なコミュニケーションの方法や、物事には多様な視点があることなどを実践的に学びます。





番組のオープニング（20秒）の楽曲もオリジナルです。
本年度の担当は、吉田（編集）と島山雄太郎（楽曲）です。
2011年度制作の作品が、2012年4月から飯能日高ケーブルテレビで放送中です。
放送時間は月～金曜の9:10～12:10～18:10～22:10の1日4回。
飯能日高ケーブルテレビの番組表で放送時間をご確認下さい。（2頁目に掲載）

ケーブルテレビでの放送が終了した番組から、順次、このホームページでも公開します。
番組タイトルに写真をクリックすると番組がスタートします。
どうぞお楽しみください。

【春学期作品】

 <p>名栗小学校 「名栗小学校の育風景」 放送終了：2012年4月2日～4月8日 名栗小学校の子ども達は、自然が溢れるなかで伸び伸びと育っていました。名栗小学校の紹介を、教頭先生のナレーションと音風景と共にご覧下さい。 【担当ゼミ生：水橋、吉田、渡辺、小坂橋】</p>	 <p>おつきさん 「飯能市の老舗名店『おつき』」 放送終了：2012年4月9日～4月15日 東飯能駅の近くにある定食屋おつきは、30年もの間飯能の市民に愛されてきました。学生に人気の理由、お店の前の人形の説明など、店主の神様々谷さんにうかがってきました。 【担当ゼミ生：小林、村井、河辺】</p>
 <p>「梅そば」さん 「飯能のうめそば屋さん」 放送終了：2012年5月30日～5月6日 飯能にある手打ちそば屋「うめそば」さんを訪ね、手打ちにこだわる理由やそば打ちを見せて頂きました。 【担当ゼミ生：笠井、佐藤、後藤】</p>	 <p>高麗神社 「1300年を迎える高麗神社」 放送終了：2012年5月7日～5月13日 高麗神社は2016年に高麗郡建部1300年を迎えます。長い歴史を誇る高麗神社の宮司、高麗氏にお話をうかがいましたので、是非ご覧ください。 【担当ゼミ生：大河原、岡村、亀田】</p>

【秋学期作品】

 <p>原田勤さん 「はんのう座」 放送終了：2012年4月16日～4月22日 はんのう座の演劇の構成・演出を手がけておられる原田勤さんに、はんのう座の活動や演劇にける思いをうかがいました。 【担当ゼミ生：西小枝美】</p>	 <p>森泉人形（株） 「3代続く飯能の人形店」 放送終了：2012年4月23日～4月29日 飯能で人形を製造・販売している森泉人形店を訪ねました。今回は専務の森泉さんと2代目社長さんにお話をうかがい、工場もご案内いただきました。 【担当ゼミ生：後藤 高宏】</p>
 <p>野出正和さん 「おもちゃ造りの人生」 放送終了：2012年5月14日～5月20日 「テレビチャンピオン」で優勝したおもちゃ制作者の野出さんをアトリエにお訪ねしました。「モノ創りをとおして「子ども達の心のポケットを一杯にしたい」と語る野出さんの思いをお伝えできればと思います。 【担当ゼミ生：水橋 正】</p>	 <p>宮寺政幸さん 「自動車屋が奏でる津軽三味線」 放送終了：2012年5月21日～5月27日 宮寺さんは多趣味で、今一番愛しているのが津軽三味線。難しいことにチャレンジするのが好きな、優しく謙虚な自動車屋さんの「津軽三味線」をお聞き下さい。 【担当ゼミ生：渡辺 優】</p>

 <p>飯能郷土館 「企画展も楽しめる郷土館」 放送終了：2012年5月28日～6月3日 博物館や郷土館などで行われる企画展は、どのように企画されて展示されていくのかのプロセスを、企画展を実際に体験しながら追いかけてみました。 【担当ゼミ生：河辺 俊希】</p>	 <p>浅見茶屋さん 「歴史ある手打ちうどん店」 放送終了：2012年6月4日～6月10日 創業昭和7年の浅見茶屋さんを訪ねました。飯能地域では、集まる機会があるとうどんを出していたそうです。地元の人に愛される浅見茶屋さんの皆さんにお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：村井 達哉】</p>
 <p>弓削多醤油(株) 「日高の醤油キングダム」 放送終了：2012年6月11日～6月17日 日高市にある弓削多醤油は、素材にこだわった醤油作りをしています。日本人の味覚を支える醤油について、そしてこだわりの醤油作りについて、店長の中村さんにお話をうかがいます。 【担当ゼミ生：小坂橋 涼】</p>	 <p>豆腐屋「若月」 「飯能の心温まる豆腐屋」 放送終了：2012年6月18日～6月24日 こだわりの豆腐を楽しんでもらうために、昼は豆腐屋、夜は豆腐料理店を営む、知る人ぞ知る名店「若月」をご紹介します。 【担当ゼミ生：小林 遼太】</p>
 <p>阿里山さん 「高麗のオーガニックフード」 放送終了：2012年6月25日～7月1日 日高市高麗本郷の中着田そばにある阿里山はオーガニックのお店で、関東の広い地域からお客様が食事にこられます。ここでオーガニックの店を開くようになった経緯や料理のこだわりについて、店主のジャックさんに紹介していただきます。 【担当ゼミ生：吉田 哲也】</p>	 <p>百川さん 「懐かしいホッとするラーメン」 放送終了：2012年7月2日～7月8日 雑誌でもよく紹介される飯能のラーメン店を訪ねました。昔ながらの「普通のラーメン」にこだわる店長の新井さんにお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：佐藤 雅敏】</p>
 <p>あけぼの子ども森公園 「おとぎの国のような公園」 放送終了：2012年7月9日～7月15日 今回は豊かな自然に囲まれた北欧の童話の世界を取り入れた公園を田島さんにご紹介いただきます。。 【担当ゼミ生：笠井 歩】</p>	 <p>加藤牧場さん 「地元の牧場が届ける新鮮な乳製品」 放送終了：2012年7月16日～7月22日 日高市にある加藤牧場さんを尋ねました。ここでは加藤牧場オリジナルの手作りアイスがおすすめです。美味しい乳製品をつくろうと努力しておられるスタッフの皆さんの熱い思いをお伝えします。 【担当ゼミ生：大河原 大介】</p>



図 8 2011 年度放送作品

2012年度作品



2012年度『見つけた』制作メンバー
番組制作メンバー

2013年4月1日から7月7日まで、飯能日高テレビで放送された
番組『見つけた』を沢山の方に視聴いただき、有難う
ございました。

ゼミで取り組んでいるのは、多様な視点の獲得、異文化理解、地域理解、メディアリテラシー、そして、パブリックアクセスを目指した映像制作です。地元のケーブルテレビ（飯能日高テレビ）の番組を制作しながら、デジタル編集だけではなく、効果的なコミュニケーションの方法や、物事には多様な視点があることなどを実践的に学びます。
本年度も番組のオープニングとエンディングの楽曲はゼミ生のオリジナルです。
今年は、窄頭（楽曲と編集）が担当しました。

各作品のタイトルが写真をクリックすると番組がスタートします。
どうぞ、お楽しみください!!

【春学期作品】



聖天院

聖天院の歴史と重要文化財の銅鐘

放送終了：2013年4月1日～4月7日

日高市の高麗神社の隣にある聖天院には、重要文化財の「銅鐘」があるのをご存知ですか？聖天院のご住職に、銅鐘のお話をうかがいました。

【担当ゼミ生：奈良、池野、入山、生方】



近藤昇さん

「飯能の自然写真家」

放送終了：2013年4月8日～4月14日

飯能にお住まいの近藤さんご夫妻は、加治東小学校の学校ボランティアをしながら、地元の貴重な動植物の生息を撮影している写真家でもあります。地域の自然についての想いをお聞かせし。

【担当ゼミ生：関田、窄頭、丸山、加幡】



綿貫武男さん

「My Life ~音楽は人を繋ぐ～」

放送終了：2013年4月15日～4月21日

30歳を過ぎてから独学でさまざまな楽器をマスターされた綿貫さん。定年退職された今は、お仲間とのバンド活動や地元のお祭りの音響担当としても活躍されています。

【担当ゼミ生：遊佐、石井、柏原】



【秋学期作品】



(株) 橋本チエイン・埼玉工場

「モノづくりで世界をリードする 橋本チエイ



ン」

放送終了：2013年4月22日～4月28日

(株) 橋本チエイン・埼玉工場では、世界シェアナンバー1を誇る自動車部品、物流センターなどで活躍する仕分け・自動搬送設備を製造しています。その製品とそのモノづくりの裏側を見せていただきました。

【担当ゼミ生：池野 孔一朗】



大川戸 洋さん

「日高の甲冑博士」

放送終了：2013年4月29日～5月5日

日本甲冑武具歴史研究会の副会長をしておられる大川戸さんは、甲冑の巨匠のもとに20年間通って学んだそうです。甲冑を見せていただきながら、お話をうかがいました。

【担当ゼミ生：石井 克博】



宮沢湖

「宮沢湖の歴史」

放送終了：2013年5月6日～5月12日

飯能・日高地域にある宮沢湖は市民の憩いの場所になっていますが、皆さんは飯能市教育委員会発行の副読本にも紹介されている宮沢湖の歴史を知っていますか？

【担当ゼミ生：入山 岳史】



埼玉西部消防局飯能日高消防署

「～町の安全を守る～」

放送終了：2013年5月13日～5月19日

宮沢湖近くにある消防署は、2013年4月から新しく埼玉西部消防局飯能日高消防署になります。日々、町の安全を守る消防署におじゃましました。

【担当ゼミ生：生方 克典】

 <p>駒井 淳一さん 「ステンドグラスに魅せられて」 放送終了：2013年5月20日～5月26日 骨董品のステンドグラスに惚れ込んで、ご自宅を改築された駒井さん。巨大なステンドグラスをご紹介いただきながら、プリキ職人のお仕事についてもお話をいただきました 【担当ゼミ生：柏原 遼】</p>	 <p>ロック研究会市川恵太さん 「新任会長・市川恵太さん」 放送終了2013年5月27日～6月2日 ロック研究会会長の市川さん。バンド活動をして、ロックに燃えながらも学生生活をまじめに全うする姿を追いかけます。 【担当ゼミ生：加幡 祐貴】</p>
 <p>PADDOCK PASS 「飯能の素敵なCafeレストラン & Bar」 放送終了：2013年6月3日～6月9日 今年で25周年を迎える飯能駅近くにあるPADDOCK PASSは、LIVE やイベントも開催している地元民に愛されているお店です。 【担当ゼミ生：窄頭 慶多】</p>	 <p>駿河台大学軽音楽同好会 「ロック研究会」 放送終了：2013年6月10日～6月16日 私も参加しているロック研究会。大学の授業だけではなくサークル活動にかけるメンバーの熱い想いをご紹介します。 【担当ゼミ生：関田千奈美】</p>
 <p>長澤酒造株式会社 「地元で愛されるお酒」 放送終了：2013年6月17日～6月23日 高麗川のともで弘化元年(1844年)から営んでいる老舗酒造のご紹介です。こちらで作られるお酒の大半は地元で消費されるそうで、まさに地元では欠かせないお酒です。 【担当ゼミ生：奈良 正樹】</p>	 <p>シモシュさん 「音楽家 シモシュさん」 放送終了：2013年6月24日～6月30日 飯能・入間を中心に活動しておられる音楽家シモシュさん。活動範囲は広く、作詞、作曲や有名人のバックバンドなどでも活躍されています。 【担当ゼミ生：丸山 明人】</p>
 <p>駿河台大学アカベラサークル 「届け！～一声に込めた思い～」 放送終了：2013年7月1日～7月7日 駿河台大学にあるアカベラサークル「a.c.p」は、さまざまなライブに出演し、たくさんの人に歌声を届けています。そんなサークルの実態に迫ってみました。 【担当ゼミ生：遊佐 厚樹】</p>	

図9 2012 年度放送作品

2013年度作品



2013年度『見つけた』制作メンバー 番組制作メンバー



ゼミで取り組んでいるのは、多様な視点の獲得、異文化理解、地域理解、メディアリテラシー、そしてパブリックアクセスを目指した映像制作です。地元のケーブルテレビ（飯能日高テレビ）の番組を制作しながら、デジタル編集だけではなく、効果的なコミュニケーションの方法や、物事には多様な視点があることなどを実践的に学びます。本年度も番組のオープニングとエンディングの楽曲はゼミ生のオリジナルです。今年は、石川（楽曲）と野崎（編集）が担当します。

★★★飯能日高テレビでの放送が終了した作品は、このホームページでもご覧いただけます。★★★
作品の写真、あるいはタイトルを“クリック”すると映像がスタートします。
是非、お楽しみください。

【春学期作品】

 <p>飯能日高テレビ 「番組制作の現場を追う」 放送終了：2014年4月7日～4月13日 皆様がいつもご覧の飯能日高テレビの番組が、どのように制作されているかを、番組制作の現場に同行取材させていただきながらお届けします。 【担当ゼミ生：井田、野崎、池田】</p>	 <p>金子バラ園 「バラ栽培の魅力」 放送終了：2014年4月14日～4月20日 バラの花の魅力を、バラ栽培をされている金子さんにご紹介いただきます。栽培されているバラの花の名前やお客様へのメッセージもお伝えします。 【担当ゼミ生：矢代、萩、熊田】</p>
 <p>新井正一さん 「新井竹芸さんを訪ねる」 放送終了：2014年4月21日～4月27日 創業1935年の新井竹芸店を営む新井さんは、竹製品をつくり続けておられる2代目店主。最近は少なくなった竹製品の制作プロセスをご紹介します。 【担当ゼミ生：阿部、萩野、阿部】</p>	 <p>福田博子さん 「書と絵の魅力」 放送終了：2014年4月28日～5月4日 書と絵を合体させた独創的なアートに取り組んでおられる福田さんに、「福田さんにとってのアートとは？」をうかがってみました。福田さんの素敵な作品を存分にお楽しみください。 【担当ゼミ生：須崎、石川、三浦】</p>

【秋学期作品】

 <p>高麗郷建郡1300年記念事業 「馬射戯(まさひ)の魅力」 放送終了：2014年5月5日～5月11日 日本の武士のたしなみだった流鏑馬と同じ競技がいにしえの高句麗でも行われていました。今も伝えられる馬射戯を実際に取材に行ってお届けします。 【担当ゼミ生：萩野 京介】</p>	 <p>大森嘉朗さん 「イラク駐在とエコツーリズム」 放送終了：2014年5月12日～5月18日 イラク駐在記『ダキーカ★シュワイヤ』を刊行された大森さんに、イラク滞在中のお話と、現在活動しておられるエコツーリズムなどについてうかがいました。 【担当ゼミ生：萩 雅弘】</p>
---	---

 <p>ガラス工房ホットスペース 「ガラス作品の魅力」 放送終了：2014年5月19日～5月25日</p> <p>飯能の隠れた人気スポットであるホットスペース。ガラス作品が完成するまでの制作方法を志田順子さんにご紹介いただきながら、ガラス制作の魅力をお伺いしました。</p> <p>【担当ゼミ生：熊田 忍】</p>	 <p>花家孝之先生 「写真を楽しむ」 放送終了：2014年5月26日～6月1日</p> <p>日高市にある花家クリニックの花家院長の趣味は写真。2013年春には駿河台大学でブータンの写真展を開催された花家先生に、写真の魅力などをうかがいました。</p> <p>【担当ゼミ生：矢代 雅人】</p>
 <p>駿輝祭実行委員会 「コンサート部の魅力」 放送終了：2014年6月2日～6月8日</p> <p>駿輝祭実行委員会コンサート部の活動を春から大学祭開催の秋まで追いかけて、コンサート部の魅力を探りました。</p> <p>【担当ゼミ生：井田 幸司】</p>	 <p>飯能川崎たんぽの会 「飯能の米づくり」 放送終了：2014年6月9日～6月15日</p> <p>たんぽの少ない飯能で米作りをしている「たんぽの会」の守田尚五さんらに、飯能で米作りを始めた経緯や目的など、米作りへのこだわりについてうかがいました。</p> <p>【担当ゼミ生：阿部 光】</p>
 <p>金子賢造さん 「飯能を元気に」 放送終了：6月16日～6月22日</p> <p>飯能市の土木事業に携わる金子組の社長である金子さんは、仕事だけではなくまちおこしや東日本大震災の復興支援など多彩な活動をされています。</p> <p>【担当ゼミ生：野寄 雅人】</p>	 <p>シャロム電子会長橋本茂さん 「現役90歳の元気の秘訣」 放送終了：6月23日～6月29日</p> <p>シャロム電子会長の橋本茂さんは、現在90歳。現役の会長でもあり、ロータリークラブのメンバーとしても活躍されている橋本さんに、「元気の秘訣」をうかがいました。</p> <p>【担当ゼミ生：阿部 良輝】</p>
 <p>三浦孝子さん 「洋裁の魅力-50年の服作り」 放送終了：2014年6月30日～7月6日</p> <p>日高市に住む三浦さん。洋裁を50年以上も続けておられる三浦さんに、洋服づくりの魅力について聞いてみました。</p> <p>【担当ゼミ生：三浦 優平】</p>	 <p>石井道夫先生 「地域医療を育てる」 放送終了：2014年7月7日～7月13日</p> <p>飯能の医師会長の石井先生は、患者さんには診させていただくという姿勢で、信頼関係をとても大切にされています。今回は地域医療活性化に向けたお話をうかがいました。</p> <p>【担当ゼミ生：池田 佳樹】</p>
 <p>飯能郷土館特別展 「飯能方面湖水の如し-失われる災害の記憶」 放送終了：2014年7月14日～7月20日</p> <p>明治43年の吾野の大洪水の様子を、当時の収入役の浅見丹治氏の記録を基に企画された特別展を学芸員の尾崎氏にご紹介いただきます。</p> <p>【担当ゼミ生：須崎 浩太】</p>	 <p>来年もよろしくお願ひします！</p>

図 10 2013 年度放送作品

2014年度作品



2014年度『見つけた』制作メンバー
番組制作メンバー

ゼミで取り組んでいるのは、多様な視点の獲得、異文化理解、地域理解、メディアリテラシー、そしてパブリックアクセスを目指した映像制作です。地元のケーブルテレビ（飯能日高テレビ）の番組を制作しながら、デジタル編集だけではなく、効果的なコミュニケーションの方法や、物事には多様な視点があることなどを実践的に学びます。

本年度も番組のオープニングとエンディングの楽曲はゼミ生のオリジナルです。

今年は、田中・小林（楽曲）と内田・田中（編集）が担当します。

★★★飯能日高テレビでの放送は2015年4月1日から始まりました。

放送が終了した作品は、このホームページでもご覧いただけます。★★★

是非、ご覧ください。

【春学期作品】



中野不二男さん
「渡来人の行先、見つけた」

放送終了：2015年4月1日～7日

埼玉県日高市の高麗神社に、その昔、渡来人が神奈川県の大磯からどのような道をたどって来たのかを、中野先生が高麗神社と共同研究で制作された衛星データとシミュレーション映像を交えてご紹介いただきます。

【担当ゼミ生：内島、内田、小林、田中】



武田好成さん
「『ヤマノススメ』反響を知る」

放送終了：2015年4月8日～14日

飯能を舞台にしたテレビアニメ『ヤマノススメ』。天覧山が作品中に出てきます。麓にある「Tマート」のオーナー武田さんに反響などのお話をうかがいました。

【担当ゼミ生：段原、秋山、田口】

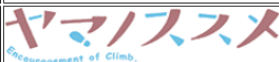


子の権現
「子の権現の根源に迫る」

放送終了：2015年4月15日～4月21日

飯能にある子の権現の調れについて、飯能市郷土館学芸員の村上達哉さんにご紹介いただきながら、子の権現の根源に迫ってみたいと思います。

【担当ゼミ生：山川、荒光、倉本】



「ヤマノススメ」セカンドシーズン2014年7月9日（水）よる10時

TOKYO MXほかにて放送開始！

今回の取材では、(株)アース・スター エンターテインメントにご協力をいただきました。そこで感謝のCMです！！皆さん、是非見てね！

【秋学期作品】



大野隆一さん
「町の写真屋さん」

放送終了：2015年4月22日～28日

東飯能駅のすぐ近くにあるフォトショップの大野さんのお店取材しました。お店に並んでいる古いカメラや珍しいカメラについての話や、イベントで撮られた写真の話がうかがえました。大野さんの仕事の様子やお客様の声もご紹介いたします。

【担当ゼミ生：田中 俊希】



きもの処「かきぬま」
「創業100年を前に」

放送終了：2015年4月29日～5月5日

飯能銀座商店街にある きもの処「かきぬま」代表取締役 4代目の神沼清さんにお話をうかがいました。創業100年をどのような気持ちで迎えるのか、また今の若い世代に伝えたい着物についてのお話も交えてご紹介していきます。

【担当ゼミ生：内田 貴之】

 <p>深田屋商店 「包丁研ぎが好評の金物屋さん」 放送終了：2015年5月6日～5月12日 飯能銀座商店街で長年営業を続けている店主の山崎さんに、包丁研ぎのコツや昔の飯能の話をお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：荒光 航平】</p>	 <p>文化新聞社 「記者の取材を追う」 放送終了：2015年5月13日～5月19日 飯能日高の出来事を報じる文化新聞社の記者 貝瀬みなみさんの取材に同行して、加治東小学校のラグビー授業にうかがいました。 【担当ゼミ生：田口 智也】</p>
 <p>飯能銀座商店街 「飯能100円商店街」 放送終了：2015年5月20日～26日 地域活性化を目指して定期的で開催されている飯能100円商店街のイベントを理事長の後藤さんや商店街の皆さんに取材させていただきました。 【担当ゼミ生：内島 駿佑】</p>	 <p>ガラス工房すみれさん 「空ビンで作るガラスアート」 放送終了：2015年5月27日～6月2日 飯能の割岩橋のそばにあるガラス工房すみれさんでは、空ビンから素敵なガラスアートを作っています。店主の吉竹愛さんにお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：段原 誠之】</p>
 <p>飯能まつり 「伝統的な山車」 放送終了：2015年6月3日～6月9日 毎年11月の第一土曜・日曜に行われる飯能まつりで使われる山車や、飯能まつりで盛り上がりをもたせる催し物について取材しました。 【担当ゼミ生：山川 智也】</p>	 <p>天覧山と多摩主山 「ハイキングコースを行く」 放送終了：2015年6月10日～16日 今回は私、倉本が、天覧山から多摩主山へのハイキングコースを歩き、そこで見られる景色や歴史を紹介したいと思います。 【担当ゼミ生：倉本 卓】</p>
 <p>石坂正美さん 「ペルーと日本 ～文化の違いとその架け橋～」 放送終了：2015年6月17日～23日 2012年に駿河台大学を卒業したペルー生まれの石坂さんに、ペルーの生活文化や思い出、日本に移住してからの苦労などをお伺いしてきました。 【担当ゼミ生：秋山 祐太】</p>	 <p>すいーとん 「新しい飯能名物」 放送終了：2015年6月24日～30日 飯能には「すいーとん」というB級グルメがあるのをご存知でしょうか？実は一般的な「すいーとん」とは違い、お店によって独自の工夫がされた一品なのです。皆さんもぜひ食べていただき、その違いを楽しんでみてはいかがでしょうか？ 【担当ゼミ生：石川 大輝】</p>

図 11 2014 年度放送作品

2015年度作品



2015年度『見つけた』制作メンバー

ゼミで取り組んでいるのは、多様な視点の獲得、異文化理解、地域理解、メディアリテラシー、そしてパブリックアクセスを目指す映像制作です。地元のケーブルテレビ（飯能日高テレビ）の番組を制作しながら、デジタル編集だけではなく、効果的なコミュニケーションの方法や、物事には多様な視点があることなどを実践的に学びます。





本年度も番組のオープニングとエンディングの映像編集担当は菅家皓・後藤俊、楽曲は舟崎輝が担当しました。

★☆☆飯能日高テレビでの放送は好評のうちに終了しました。

番組はこのホームページで動画でご覧いただけます！

★動画をご覧いただく場合は、作品のタイトルが写真をダブルクリックすると、動画が始まります★

【春学期作品】

 <p>平井純子先生 「飯能の生きものたち」 放送終了：2016年4月4日～4月10日</p> <p>飯能エコツーリズムに参加して、飯能にどんな生き物がいるのかを見てきました。案内役の平井純子先生に飯能の自然活動や飯能の生きものについてのお話をうかがいました。</p> <p>【担当ゼミ生：大原、菅家、後藤、和田】</p>	 <p>中島有野さん 「自然に囲まれた焙煎工房」 放送終了：2016年4月11日～4月17日</p> <p>飯能の自然あふれる吾野の川沿いで、コーヒーをゆったり楽しめる素敵な焙煎工房。この土地が気に行きつて移ってきたという中島さんに吾野の魅力やおいしいコーヒーの楽しみ方をうかがいました。</p> <p>【担当ゼミ生：岡、桐木、鈴木、広瀬】</p>
 <p>観音寺 服部敬亮住職 「地元でみつけた！in飯能 観音寺」 放送終了：2016年4月18日～4月24日</p> <p>Youtubeで公開されている「恋するフォーチュンクッキー 飯能ばーじょん」に出演していた可愛い小僧さん姿の園児たちにくぎ付けになった人も多い筈。出演の裏話や、境内にある「白い象」についてご住職にうかがいました。</p> <p>【担当ゼミ生：今井、堀山、福田】</p>	

【秋学期作品】

 <p>飯能信用金庫 新井直哉さん 「金融Today講座」 放送終了：2016年4月25日～5月1日</p> <p>埼玉を中心に地元で親しまれている飯能信用金庫。飯能中央支店に勤務している新井さんは、今回、駿河台大学で『金融Today』の講義を担当することになりました。その新井さんを取材させていただきました。</p> <p>【担当ゼミ生：桐木、隆広】</p>	 <p>片岡美紀さん 「飯能に響くヴァイオリンの音色」 放送終了：2016年5月2日～5月8日</p> <p>今回私がご紹介するのは、飯能にあるヴァイオリン教室です。誰もが一度は憧れるヴァイオリン！この番組を見てヴァイオリンに興味を持っていただけなら嬉しいです。</p> <p>【担当ゼミ生：広瀬 真】</p>
 <p>吾野宿再生と吾野を語る会 「歴史と自然にあふれる吾野宿」 放送終了：2016年5月9日～5月15日</p> <p>吾野駅から徒歩10分のところにある吾野宿。歴史と自然にあふれるこの町を中心に活動している「吾野宿再生と吾野を語る会」の皆さんに、会の活動についてお話をうかがいました。</p> <p>【担当ゼミ生：鈴木 啓太】</p>	 <p>まちのおもちゃ屋さん 「丸見堂」 放送終了：2016年5月16日～5月22日</p> <p>古くから飯能市民の皆様に親しまれているおもちゃ屋さん「丸見堂」さんをご紹介します。「丸見堂」さんにはたくさんのお客様が訪れます。その理由は何なのでしょう？今回の取材では、そあたりを探ってご紹介いたします。</p> <p>【担当ゼミ生：堀山 凌】</p>

 <p>スペイン留学記 「私が訪れた文化遺産」 放送終了：2016年5月23日～5月29日 私は2015年8月に1か月間スペインに留学しました。そこで今回、私が留学中に訪ねたサラマンカ、マドリード、バレンシア、セゴビアの4つの都市を紹介しました！ 【担当ゼミ生：福田 拓人】</p>	 <p>「だるま市で賑わう浄心寺」 放送終了：2016年5月30日～6月5日 「飯能の毘沙門様」として親しまれている浄心寺。今回は毎年1月に開催されるだるま市について取材しました。 【担当ゼミ生：岡 拓摩】</p>
 <p>サバイバルゲームフィールド 「ZEEK in 日高市」 放送終了：2016年6月6日～6月12日 日高市にあるインドアフィールドのZEEKは屋外とは違った、また別の面白さがあります。今回は園央道の狭山日高インターから10分のところにあるZEEKを取材します。 【担当ゼミ生：今井 徹樹】</p>	 <p>松田充弘さん 「東飯能で壁のぼり」 放送終了：2016年6月13日～6月19日 東飯能駅から徒歩で1分！そこにフリークライミングのジムがあります。フリークライミングには、ボルダリングというジャンルがあるのをご存知ですか？もしご存知でなければ、是非この番組を見て興味を持っていただけたら有難いです！ 【担当ゼミ生：和田 凱也】</p>
 <p>巾着田管理事務所 小原良三さん 「憩いの場 巾着田」 放送終了：2016年6月20日～6月26日 日高市にある巾着田は市民の憩いの場になっています。四季によって風景が変わり、秋には曼珠沙華で賑わいます。そんな巾着田のことについて管理事務所の小原さんにお話を伺ってきました。 【担当ゼミ生：菅家 皓】</p>	 <p>絹山洋司さん 「ハトメコーヒーで“ホット”な一息」 放送終了：2016年6月27日～7月3日 飯能大通りに昨年開店した「ハトメコーヒー」に入ると、店内ではホッとできる雰囲気になります。そんなお店の様子や店内で時々開催されるライブの様子、それに店長さんのお話をご紹介します。 【担当ゼミ生：大原 拓弥】</p>
 <p>オーストラリア留学報告 「アートの街メルボルン」 放送終了：2016年7月4日～7月10日 私が半年間の留学生生活を過ごしたメルボルンについて、旅番組では紹介しないアートの街、メルボルンをご紹介します。ぜひオーストラリアを訪れた際には立ち寄ってみてください。 【担当ゼミ生：後藤 俊】</p>	 <p>♡ご好評いただきました本年度の飯能日高ケーブルテレビでの放送は終了しました♡ ♡沢山の皆様に視聴いただき有難うございました♡</p>

図 12 2015 年度放送作品

2016年度作品



2016年度『目につけた』制作メンバー

ゼミで取り組んでいるのは、多様な視点の獲得、異文化理解、地域理解、メディアリテラシー、そしてパブリックアクセスを目指した映像制作です。地元のケーブルテレビ（飯能日高テレビ）の番組を制作しながら、デジタル編集だけではなく、効果的なコミュニケーションの方法や、物事には多様な視点があることなどを実践的に学びます。

本年度の番組のオープニングとエンディング、映像編集担当は萩原 佳・益子希、楽曲は鈴木純一が担当しました。

★★★番組の公開を始まりました！★★★

2017年4月5日から飯能日高テレビでの放送がスタート。
放送が終了した番組は、このページで動画でご覧になれます。
写真又はタイトルをクリックすると、番組がスタートします。

【春学期作品】

<p>飯能市立図書館 「生まれ変わった図書館をご紹介」 放送終了：2017年4月5日～4月11日</p> <p>2013年にリニューアルされた飯能市立図書館は利用者の様々なニーズに応えとても利用しやすくなっています。そんな図書館をより多くの方に知っていただきたいと、新しくなった施設の紹介や、普段聴くことのない司書さんの思いをご紹介します。</p> <p>【担当ゼミ生：齋藤 多田、萩原、益子】</p>	<p>Fumi美容室 「お店の歴史が町の歴史に」 放送終了：2017年4月12日～4月18日</p> <p>飯能にある美容室。そこには代々受け継がれてきたあたたかな歴史がありました。変わりゆく町や人々に合わせ、どのように店が変わってきたのか、伺ってきました。</p> <p>【担当ゼミ生：助川、團野、鶴森】</p>
<p>飯能大島袖 「消えゆく伝統織物」 放送終了：2017年4月19日～4月25日</p> <p>皆さんは飯能大島袖をご存知ですか？飯能大島袖は今も残念ながらもう生産されなくなりましたが、今回はかつて飯能大島袖を生産されていた高山平さんにお話をうかがいました。</p> <p>【担当ゼミ生：小野、木山、諸橋】</p>	

【秋学期作品】

<p>銀河堂社長 「顔縁と職人の心」 放送終了：2017年4月26日～5月2日</p> <p>日高市にお店を構える銀河堂さんは、全国でも珍しい顔縁や掛け軸、絵画を取り扱っているお店です。また社長の中島正利さんは、名だたる著名画家の顔縁を製作されていたということで、そんなお話をうかがいました。</p> <p>【担当ゼミ生：齋藤 健斗】</p>	<p>武蔵台剣友会 「ママさん剣道で地元へ活力」 放送終了：2017年5月3日～5月9日</p> <p>来年に35周年を迎える、日高市武蔵台剣友会。節目を迎える会員に指導法のごたわりを伺いました。また、ママさん剣道大会の様子も取材させていただきました。</p> <p>【担当ゼミ生：團野 喬介】</p>
<p>アレックス 「水中ウォーキング」 放送終了：2017年5月10日～5月16日</p> <p>近年、高齢者の方の運動不足が問題になっていきます。今回は、飯能にあるスポーツジム「アレックス」さんにて、プールを利用した無理のない運動をご紹介します。</p> <p>【担当ゼミ生：多田 秀哲】</p>	<p>スポーツ吹き矢 「吹き矢の魅力」 放送終了：2017年5月17日～5月23日</p> <p>皆さんはスポーツ吹き矢をご存知ですか？飯能日高で行われているスポーツ吹き矢を取材しました。実は吹き矢は健康にとっても良いスポーツなのです。実際に吹き矢教室に通っている皆さんにお話をうかがいました。</p> <p>【担当ゼミ生：小野 亮太】</p>

 <p>糸でつながるものがたり 「織物文化と地域のつながり」 放送終了：2017年5月24日～5月30日 2016年11月9日に開催された「絹と木綿のものがたりフォーラム」というイベントを取材してきました。飯能市の織物の文化と八高線沿いに残る絹文化の関係を紹介します。 【担当ゼミ生：助川 貴郁】</p>	 <p>クマクラ織機 「手織り機を作り続けて63年」 放送終了：2017年5月31日～6月6日 今回は創業63年という長い歴史のある手織機の製造・販売をされているクマクラ織機さんにおじゃまし、一人で織機を製作されている4代目の黒澤さんにお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：木山 智允】</p>
 <p>ゆうもあくらぶ 「一枚の写真から」 放送終了：2017年6月7日～6月13日 今年で45回目となる「ゆうもあ大賞」の表彰式と祝賀パーティがホテルニューオータニで行われました。実は飯能で見つけた1枚の写真から、昭和30年代には飯能で「ゆうもあくらぶ」が開催されていたことがわかり、この歴史的「発見」を取材しました。 【担当ゼミ生：萩原 佳】</p>	 <p>英国屋さん 「まちのパン屋さん」 放送終了：2017年6月14日～6月20日 飯能銀座商店街で長年営み続けているパン屋「英国屋」さん。お店についてや、おすすめのパンなどをご紹介します。 【担当ゼミ生：諸橋 拓磨】</p>
 <p>山田麻子さん 「個性に生きる書道家」 放送終了：2017年6月21日～6月27日 今年はニューヨークでもワークショップを開催された書道家の山田麻子さん。躍動感あふれる山田さんの書や生き方について、お話をうかがいました。 【担当ゼミ生：益子 和希】</p>	 <p>New! 2017年4月5日から飯能日高テレビで始まった『見つけた』の放送をご覧いただき有難うございました。お陰様で多くの方からご好評をいただきました。</p>

図 13 2016 年度放送作品

2017年度作品



2017年度『見～つけた』制作メンバー

ゼミで取り組んでいるのは、多様な視点の獲得、異文化理解、地域理解、メディアリテラシー、そしてパブリックアクセスを目指した映像制作です。地元のケーブルテレビ（飯能日高テレビ）の番組を制作しながら、デジタル編集だけではなく、効果的なコミュニケーションの方法や、物事には多様な視点があることなどを実践的に学びます。

本年度の番組のオープニングとエンディング、映像編集担当は松浦直輝・岩下詩音が担当しました。




★★★番組の公開を始めました★★★

2018年4月4日から飯能日高テレビでの放送がスタート。

放送が終了した番組は、このページで動画でご覧になれます。

下記の写真又はタイトルをクリックすると、番組がスタートします。

【春学期作品】

 <p>高麗鍋 「B級グルメで町おこし」 放送終了：2018年4月4日～10日 町おこしの一環として誕生した高麗鍋は、今では市民におなじみのものとなっています。今回は高麗鍋の発祥のルーツからおすすめのお店までご紹介します。 【担当ゼミ生：鎌田、杉、仲野、吉澤】</p>	 <p>巾着田のはちみつ 「日高の宝石」 放送終了：2018年4月11日～17日 日高の巾着田のそばにある一軒の商店「なかや商店」さん。ここでは、3代目の駒井さんがはちみつを作っています。駒井さんにはちみつ採集から製造過程、そして何よりものはちみつへ想いと誇りをうかがいました。 【担当ゼミ生：神山、黒川、佐藤、山本】</p>
 <p>休暇村奥武蔵 「緑に囲まれたリゾート施設」 放送終了：2018年4月18日～24日 50年以上の歴史を持つリゾート施設、休暇村。2018年のリニューアルオープン前に奥武蔵に伺い、こだわりの大浴場や奥武蔵ならではのイベントについてお話を伺いました。 【担当ゼミ生：岩下、大室、小西、松浦、渡部】</p>	

【秋学期作品】

 <p>高麗川囃子連 「日高に響く囃子の音色」 放送終了：2018年4月25日～5月1日 日高市で活動している高麗川囃子連。長い伝統を継ぐ中で、今、何を大切にしているのか？会長さんや会員の方々に話しをお聞きしました。 【担当ゼミ生：山本 夏希】</p>	 <p>たかはしまごさん 「たまご職人のこだわり」 放送終了：2018年5月2日～5月8日 日高市で養鶏業を営む高橋さん。他の養鶏場とは異なる方法で、自称「世界一」美味しいエサを使って「世界一」美味しい卵を生産しておられる高橋さんの秘密に迫ります。 【担当ゼミ生：黒川 侑希】</p>
 <p>鳥居観音 「自然あふれる観音様」 放送終了：2018年5月9日～15日 名栗を訪れた人は誰もが気付く山頂にある大観音様。その魅力を、開祖の平沼彌太郎さんの関係者の方に教えていただきました。 【担当ゼミ生：仲野 志歩】</p>	 <p>生活の木さん 「都会のオアシス薬草園」 放送終了：2018年5月16日～22日 飯能市美杉台にある薬草園は、ハーブの本来の用途であろうメディカルも考える「健康」を大きなテーマとするハーブガーデンです。 【担当ゼミ生：佐藤 星海】</p>
 <p>月光堂カメラ店さん 「街の写真屋さんの今」 放送終了：2018年5月23日～5月29日 昭和25年創業の写真屋月光堂さん。全国でもシャッター街が増える中、個人商店の経営には厳しいものがあります。そんな中でも三代目の細田智之さんが家業の写真屋を継いだ熱い思いをお伝えします。 【担当ゼミ生：松浦 直輝】</p>	 <p>Bookmarkさん 「多くの人々にぎわう暖かい場所」 放送終了：2018年5月30日～6月5日 古本屋だった場所がコワーキングスペースとして生まれ変わった「Bookmark」。今では多くの人が様々な目的で使用するスペースになっています。今回はBookmarkができる経緯から今に至るまで取材しました。 【担当ゼミ生：吉澤 綾夏】</p>
 <p>店蔵絹甚 「114年の歴史を持つ店蔵」 放送終了：2018年6月6日～12日 明治時代に火災への備えのために建てられた絹甚は、当時、流行っていた江戸の風情を感じさせる土蔵造り。飯能の指定有形文化財の「絹甚」を改めてご紹介します。 【担当ゼミ生：杉 ひかり】</p>	 <p>旭豊工業さん 「代々受け継ぐ職人の技」 放送終了：2018年6月13日～19日 日本の伝統的な技術によって作り出される畳。飯能で3代に渡って受け継がれてきた旭豊工業さんで、普段なかなか見ることのできない畳替えを見学させていただき、畳についてのお話を聞かせていただきました。 【担当ゼミ生：渡部 茜】</p>
 <p>子育て総合センター 「ママの強い味方」 放送終了：2018年6月20日～26日 飯能市の子育て総合センターでは、子育てに役立つ情報の発信や、お母さん達の手助けになるような取組を行っています。今回は、総合センター内にある「どんぐりルーム」の様子を施設の紹介とともに取材させていただきました。 【担当ゼミ生：鎌田 奈実】</p>	 <p>丸屋酒店さん 「非効率・不採算への挑戦」 放送終了：2018年6月27日～7月3日 「利益につながるのなら何でも挑戦する」ことをモットーとされているご主人の井上さんに、街興しについてお話をうかがいました。 【担当ゼミ生：岩下 詞音】</p>
 <p>ギター工房mogutさん 「こだわりのギター作り・良い音求めて」 放送終了：2018年7月4日～10日 飯能市久須美でギターづくりをしている赤城さんは、奏者に良い音で奏でてもらえるギター作りをしていらっしゃいます。今回はギターの制作工程をご紹介いただきながら、赤城さんの熱い思いとこだわりをうかがいました。 【担当ゼミ生：小西 雄也】</p>	 <p>吉野勤さん 「木のぬくもりを大切に～無垢の木を使った建築～」 放送終了：2018年7月11日～17日 木の自然な素材・素材を生かして家づくりをする吉野さん。家を「買う」のではなく、設計から考えて「建てる」ことばで愛着を持って欲しい、と話される吉野さんにお話しをうかがいました。 【担当ゼミ生：神山 航平】 動画公開開始</p>
 <p>狐師工房さん 「獣との共生を考える狩猟集団」 只今放送中：2018年7月18日～24日 狐師工房では、捕獲した鳥獣の素材を最大限に有効活用するためにどうしたらよいのかを、高校生を対象に授業を行っています。今回はその様子取材させていただきました。 【担当ゼミ生：大室 知義】</p>	 <p>番組の放送予定を変更しました！！ どうぞ、各番組をお楽しみ下さい！</p>

図 14 2017 年度放送作品

An Educational Practice Linked to the Local Community

—In Terms of Transmission of Information and Regional Contribution—

by Mieko Tsukamoto

[Abstract] For 13 years, the Tsukamoto seminar has sustained an educational project linked to the local community. It has produced an aggregate of 193 cable television programs since 2003. In 2017, a DVD on the deterrence of criminal activity produced by them received a letter of appreciation from the Saitama Prefectural Police and Voluntary Crime Prevention Group. In this paper, the author reviews her educational practices linked to the local community from the perspective of transmission of information and regional contribution. The author also emphasizes helpful functions that can be undertaken by university educators.

[Key words] transmission of information, regional contribution, educational practice, video production